

FRONTIER



No.66

2025/2/20

Contents

- ・2025年新年交礼会・北海道大学ホームカミングデー2024
- ・【Campus Frontline】北海道大学の目指すワイン教育研究〈曾根輝雄さん〉
- ・【恵迪寮の伝統】今も作られ続ける“北大寮歌”・職場奮戦記〈寄稿〉
- ・旧五街道をてくてく歩いて〈北村昌文さん〉・北大認定ブランド商品
- ・北大漕艇部18年ぶりのメダル・【設立94年】脈々つながる福島学寮

表紙の写真 (左から) 上段: 小原幸子さん、北大寮歌祭 (2024年10月)、曾根輝雄さん、北大漕艇部 部員とOBOG
中段: 石崎英治さん、福林紀之さん[絵画]、佐藤文康さん、東京同窓会OG会 (2024年11月)
下段: 紺藤伊吹さんと高澤共生さん、佐藤一絵さん、多磨霊園墓参 (2024年10月)、北村昌文さん

2025年 東京同窓会 新年交礼会 総務委員会 年頭のごあいさつ 横田浩	4
北海道大学ホームカミングデー2024 創基150周年カウントダウンイベント 北海道大学社会共創部広報課	6
風景との対話 お供はスケッチブックと缶ビール 福林紀之	19
職場奮戦記 「ご縁」でたどりついた富山から北海道愛をこめて 佐藤一絵	20
野生鳥獣の利活用事業と北海道大学での学び 石崎英治	22
音楽で人の心をつなげていきたい 小原幸子	26
多磨霊園墓参 2024年の墓参を終えて 浅田清	29
5年ぶりの東京同窓会OG会 西野順子	30
エルム談話室 令和6年4月～令和6年9月の活動報告 平田更一	32
北海道大学の目指すワイン教育研究 曾根輝雄	36
北大認定ブランド商品の取り組み 産学・地域協働推進機構 野田元春・七尾佳菜	38
北大漕艇部18年ぶりにインカレでメダル獲得! 川勝幹人	40
旧五街道をてくてく歩いて 北村昌文	44
脈々つながる福島学寮 佐藤文康	46
今も作られ続ける`北大寮歌。 小松遼貴	48
アフリカー周《開拓使ともお》のBe Funbitious! 高澤共生	50
名刺広告	52
新入会員・訃報	55
北海道大学の近況(2024年夏・秋) 北海道大学社会共創部広報課	56
事務局からのお知らせ／4コマ「くらあくとの北大あるある」 高野葵	62
北海道の花 「スマレサイシン」 鮫島惇一郎	64

企業広告

中外製薬株式会社／株式会社トクヤマ／株式会社日建設計 北海道オフィス
株式会社プライダル／株式会社ぶらう／松尾ジンギスカン ※順不同

世界
を変える。トクヤマの
太陽光パネル低温熱分解
リサイクル技術*

廃太陽光パネルから、
高度なリサイクル技術で高品質な素材をとりだす。
北海道南幌町の実験施設から、世界を変えていきます。

www.tokuyama.co.jp ※新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との共同開発

もっと未来の人のために TOKUYAMA 

2025年 東京同窓会 新年交礼会

JAZZ LIVE PARTY

日時：2025年1月17日（金）18:30～
会場：明治屋ホール（明治屋京橋ビル）



北大JAZZ研OBOGの堀江大輔さん(右)と堀江敬子さん(左)



「都ぞ弥生」合唱

横田会長による乾杯の発声で懇親会がスタート。昨年の新年交礼会で好評だったJAZZ研OBOGのプロミュージシャンによるジャズ演奏が流れる中、老舗レストラン・京橋モルチエの美味しい料理を楽しみながら、賑やかな情報交換の場となりました。

弘田裕副会長（S57医）の中締め挨拶後、応援団OBOの岩崎哲也理事（S59工）のリードで都ぞ弥生を合唱して散会となりました。

（総務委員会）



横田浩会長の開会挨拶



弘田裕副会長の中締めの挨拶

2025年1月17日（金）、今年最初の東京同窓会主催のイベントが開催されました。昨年よりさらに多くの卒業生が京橋の明治屋ホールに集い、ここ数年で最も賑やかな新年交礼会となりました。

ネス世界記録に認定された東京ジンプ2024のことや、昨年10月に開催された北大主催の半導体テーマにしたシンポジウムなど、東京同窓会の近況や活動の紹介があり、会発展のための新規会員の増強に向けた協力、ならびに来年の北大創基150周年に向けた寄付などへの支援の呼びかけがありました。

毎年10月にはクラーク遺徳顕彰・募参委員会による多磨霊園の墓参が行われ、昨年は20名超の同窓生が参加されました。こうした活動を続けていくためには同窓会員数の増加が必須です。会社や同窓会の集まりの際に、東京同窓会への入会の声かけをお願いいたします。

筆した北大OB・日経新聞論説委員の太田泰彦さんより「半導体の現在・未来」と題する基調講演があり、大変好評を博しました。これを機に北大と関東の半導体関連企業の連携を強化し、大学の活動に寄与できるような交流の場を増やしていきたいと思っております。

東京同窓会は同窓生のきずなを深めるとともに、学部横断で大学をサポートする組織です。同窓会の厚みを増すことで同窓生のセーフティネットとしての機能も持ちうるものですので、是非多くの同窓生に会員になっていただきたいと思います。

また昨年10月17日、北大主催で半導体関連の特別シンポジウムが学士会館で開催されました。これは、ラピダスの千歳進出を契機に北大が北海道における半導体エコシステムのの中核となるべく企画されたもので、開催にあたっては募金・産学連携委員会の廣重委員長（北大東京オフィス副所長）が中心となり、同窓会としてもバックアップいたしました。当日は会場が満席となるほどに半導体関連の大手企業の社長・担当役員150名が集まりました。シンポジウムの冒頭に、ベストセラー『2030半導体の地政学』を執

さて来年2026年は、北大創基150年にあたります。創基150周年記念事業として「地域・世界に羽ばたく学生（毎年600名）を対象に支援する事業（15億円）」「青少年が知に触れる場として古河講堂改修利用事業（10億円）」「建築家・安藤忠雄氏が自治体に寄贈されている『子供の森』をキャンパス内に建設する事業（5億円）」などが進められ、また、フロンティア基金「創基150周年記念募金」として236年に50億円の積立て、そのほかに学生支援事業、新渡戸カレッジ支援事業、学部支援事業（研究林活用とSDGs、起業家育成基金など）を掲げております。同窓生の皆さまにはぜひご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆さまやご家族の方々の今年一年のご健勝とご多幸、そして東京同窓会がますますの発展をお祈り申し上げます。

年頭のごあいさつ

東京同窓会会長 横田 浩（S60経）

新年明けましておめでとうございます。本日はたくさんの方の同窓生にお集りいただき新年交礼会を開催できることを嬉しく思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

東京同窓会の近況としましては、昨年、4年越しとなる「ギネス記録に挑戦」と銘打った東京ジンプが開催されました。若いメン

バーが中心となつていいる組織・交流委員会の方々の取り組みや、農学部OBのご協力による食材手配、数多くの卒業生のご支援により、圧倒的な記録で見事にギネス認定されました。ギネスイベント後の恒例のジンプにも多くの同窓生の皆さんにご参加いただき、盛況のうちに終えることができましたことを改めて御礼申し

文学部同窓会総会
9月28日(土)12時30分～13時30分
人文社会科学総合教育研究棟
参加者10名

文学部同窓会は、9月28日(土)に、人文・社会科学総合教育研究棟にて、第25回総会を対面とZoomによる遠隔配信で開催しました。

文学部同窓会



講演する加藤准教授



加藤准教授と泉記者による対談

対談を通じて、いじめ対応の現状と課題に対する理解を深めることができ、さらにはいじめをどう理解し、何ができるかを、会場とオンライン参加者全員がともに考える、濃密で貴重な時間となりました。

残念ながら、Zoomによる参加者は得られませんでした。一般会員4名、役員6名、計10名により審議を行い、2023年度の活動報告、会計決算、会計監査報告などを承認し、2024年度の会計予算、活動計画などを決議しました。

総会後は、文系4学部合同の公



同窓会総会で挨拶する辻智子教育学部部長

加が可能となりましたが、オンラインによる参加者はありませんでした。

宮崎隆志会長の挨拶につづいて、来賓の辻智子教育学部部長が

総会の終了後、会員の杉浦正人さんの近著『さつばろ再見 ちよつとデイープなまち歩き』(北海道新聞社)の紹介がありました。

また懇親会が企画され、13名の会員が参加しました。

教育学部同窓会総会

9月28日(土)16時30分～18時
人文社会科学総合教育研究棟
参加者24名

開シンポジウムに5名の同窓生が参加しました。また、今年度は、当初計画していなかった懇親会を、来年3月に開催予定の文学研究院・文学部の卒業・修了祝賀会の際に注文するオードブルの試食会を兼ねて急遽開催し、同窓でもある文学研究院長及び文学事務部事務長などの参加もあり、10名を超える参加者を得て、久しぶりに会員相互の懇親のひとときを持つことができました。

議案は、後藤隆之氏(23期)が議長となり進められ、審議の結果は次のとおりです。

- ①「2023年度会務報告」「2023年度決算報告」「監査報告」〓満場一致で承認
- ②「2024年度事業計画(案)」〓承認
- ③「2024年度予算(案)」〓承認
- ④「役員の改選」〓承認

宮崎会長の再任、近藤健一郎副会長の新任、幹事長 常任幹事(4名)と55名の幹事を承認、新体制が発足。

総会の終了後、会員の杉浦正人さんの近著『さつばろ再見 ちよつとデイープなまち歩き』(北海道新聞社)の紹介がありました。

また懇親会が企画され、13名の会員が参加しました。

部局・同窓会主催行事

文学部・教育学部・法学部・経済学部

文学部・教育学部・法学部・経済学部合同企画 公開シンポジウム

9月28日(土)14時～16時
人文社会科学総合教育研究棟
参加者127名

文系4部局合同企画は、公開シンポジウム「いじめに無関心でいられない人たちへ」と題して、同窓生、教職員、学生及び市民を対象に実施しました。今回は集客開

催とオンラインでの同時配信により実施し、127名の参加がありました。

山本文彦理事・副学長、今年度担当部局の辻智子教育学部部長、宮崎隆志教育学部同窓会会長の挨拶に続き、加藤弘通准教授による講演が行われました。休憩をはさんだ後半では、同窓生で北海道放送株式会社泉優紀子記者が参加者から寄せられた質問を紹介し、内容に切り込む形で、白熱した対談が行われました。

講演と加藤准教授と泉記者の対

北海道大学 ホームカミングデー 2024



HOKKAIDO UNIVERSITY
HOME COMING
DAY 2024
Be ambitious again!

創基150周年カウントダウンイベント 北海道大学社会共創部広報課

9月27日(金)から9月30日(月)の4日間、「北海道大学ホームカミングデー2024」を開催しました。

2026年に迎える創基150周年に向けて、学内外の機運醸成を図るカウントダウンイベントとして開催され、全学行事並びに各局・同窓会主催行事に延べ1518人が参加されました。

来年度の開催は、令和7年9月27日(土)を予定しておりますので、同窓生はもとより一般市民の皆様のご参加をお待ちしております。

(社会共創部広報課卒業生・基金室)

全学行事

社会共創部広報課卒業生・基金室
歓迎式典・記念講演会

9月28日(土)10時～12時
学術交流会館講堂 集客173名

ホームカミングデーの全学行事として「歓迎式典・記念講演会」を対面(集客)とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。

はじめに實金清博総長から、創基150周年を目前に、多様なステークホルダーからの支持を獲得するため、本学の素晴らしさを戦略的に発信し、北大ブランドの価値を高めることが重要であるこ

と、また、海外では同窓生との結びつきが社会連携という意味で最も大切なものの一つであることについて説明がありました。

続いて、村山明宏副理事・情報科学研究院特任教授による記念講演会では、「北海道大学における先端半導体への取組」と題し、現代社会における先端半導体の重要性や、本学が北海道の半導体産業の成長に大きく貢献することが期待されていることについて講演がありました。

次に、本学卒業生初のプロ野球選手となった埼玉西武ライオンズ投手の宮澤太成さんと第171回直木賞候補作家の岩井圭也さんが、学生時代の思い出や北大での経験がどのように現在生かされているかなどを語った、メッセージムービーの上映がありました。

その後、学生団体による歓迎ス



北海道大学交響楽団による演奏



応援団・応援吹奏団による演舞



「都ぞ弥生」の斉唱

当日会場にお越しいただいた参加者及びオンラインでの視聴者の皆様には、北海道大学の現在地を体感いただける良い機会になったことと思います。

呼びかけによる「都ぞ弥生」の斉唱の後、横田篤理事・副学長による閉会の挨拶で締め括りました。



開会の挨拶を述べる實金総長



講演する村山副理事

法学部同窓会

2024年度定時総会

9月28日(土)17時10分〜17時40分
インフォメーションセンター「エルムの森」内
「カフェ・ごはん」 参加者33名

佐々木亮子同窓会長の開会挨拶、ご来賓である尾崎一郎法学研究科長・法学部長のご挨拶後、7月11日(木)開催の同窓会役員会において審議され、総会提出議案として承認された次の議案について審議し、全会一致で承認されました。

- ①2023年度事業報告(案)、同収支決算報告書(案)
- ②2024年度事業計画(案)、同収支予算(案)
- ③役員の改選(案)

議案第3号の役員改選案が満場一致で承認されたことにより、佐々木亮子氏が6年間務められた同窓会長を退任され、藤田美津夫氏(27期)が新たに同窓会長に就任されることとなりました。



開会挨拶をする佐々木同窓会長



就任挨拶をする藤田新同窓会長

また、席上、事務局より次の事項について、報告がされました。
(1)2024年3月4日(月)に2023年度(第3回)北大法学部同窓会賞受賞者が決定され、同3月25日(月)の令和5年度学士学位記授与式当日の午後1時30分から法学部小会議室において授賞式が挙行され、受賞者(個人3名、ただし、課外活動優秀者の宮澤太成会員については、プロ野球キャンプ中のため残念ながら欠席、団体1団体)に佐々木同窓会長から表彰状及び金一封が授与されたこと。また、尾崎法学研究科長・法学部長がご来賓として出席され、受賞者にお祝いと激励の挨拶を述べられたこと。個人の部3名のうち2名は学業成績優秀者として、1名は課外活動優秀者(北大初のプロ野球選手に登録される)としてそれぞれ受賞されたこと。
(2)2016年度から着手した同窓会の財政健全化計画は2020年度をもって一応達成された旨、既に報告済みであるところ、その後さらに3年延長して取組(主に会費納入率の向上)を継続した結果、2023年度決算による繰越金は、計画着手前の約5・4倍となる1615万円となり、同窓会の恒

久的な運営が可能となる強固な財政基盤が確立されたこと。
なお、総会開会に当たり、事務局より、本日の総会(この後開催される講演会及び懇親会も同じ)には在学生会員11名が参加されていることを会場内にアナウンスしたところ卒業生会員等から大きな拍手が送られました。
法学部同窓会主催講演会
9月28日(土)17時40分〜18時30分
インフォメーションセンター「エルムの森」内
「カフェ・ごはん」 参加者32名
ホームカミングデー
当日に行われていた同窓会主催講演会は、コロナ禍による中断を経て昨年3年ぶりに開催することが出来ましたが、引き続き本年も会員の皆様に深い感銘をもたらし充実した講演会を運営することが出来ました。
本年の講演は「北大法学部の70年を振り返り、これからの70年を考える」と題し、講師は尾崎一郎法学研究科長・法学部長が務めました。レジュメに沿いながら、尾崎研究科長・学部長の生まれ育った時代環境(大学や大卒



講演される尾崎研究科長・法学部長



講演会の様子

最後に、そのような時代の中で、在学生会員の皆様には「自由な精神、広い視野、仲間とのネットワーク重視」を贈る言葉としての旨が述べられ、講演会は無事終了しました。卒業生会員・在学生会員それぞれに極めて有益な講演であり、閉会に当たり主催者である法学部同窓会から尾崎研究科長・学部長へ、厚い感謝と敬意の念が伝えられました。

法学部同窓会会員懇親会(交流会)

9月28日(土)18時30分〜20時20分
インフォメーションセンター「エルムの森」内
「カフェ・ごはん」 参加者33名

講演会に引き続き会員懇親会が開催されました。33名の同窓会員(うち11名が在学生会員)が参加され、昨年同様会場は会員同士の会話で大いに賑わいました。この度の定時総会で新たに選出された藤田美津夫新同窓会長より開会の挨拶がなされ、懇談が始まりました。



懇親会の様子

述べられました。

新旧同窓会長の歓送迎会を兼ねての懇親会でもあることから、新旧会長と会員の皆様との和やかな語らいも続けられました。最後は、この度の同窓会役員改選で10年以上にもわたり務められてきた同窓会会計監査(役)を退任された岡田信弘元法学研究科長・法学部長(25期)より、同窓会長を退任される佐々木亮子氏と事務局局長を本年限りで退任される高橋了氏への慰労と感謝を込めた閉会のご挨拶と兼ねて乾杯の音頭がなされました。「楽しかった。来年もここでまたやろう。お疲れ様」との声が聞こえる中で、参加者会員の皆様が帰路につかれました。

経済学部同窓会

2024定時総会・懇親会

9月28日(土)16時10分〜17時10分
人文社会科学総合教育研究棟
参加者17名

経済学部同窓会では、文系4部局合同シンポジウム終了後、人文・社会科学総合教育研究棟にて2024年度定時総会を開催しました。今年度も昨年同様、対面とZoomによるハイブリッドで実施し参加者は17人でした。

板谷淳一同窓会長の進行により会が進められ、昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、規約の改正などが審議され、活発な質疑応答が行われた後、承認されました。その後場所を「ミア・ボッカ札幌駅北口店」に移し、懇親会が行われました。同窓生同士、20代から70代が集い懇親を深め、同窓会への活発な意見交換も行われ大変有意義な会となりました。



懇親会の様子

**理学部同窓会・理学院・理学部
理学部ホームカミングデー2024
「理学で広がる未来。人生を彩る
多様なキャリア発見交流会」**
9月30日(月)13時〜18時30分
理学部5号館 参加者162名

9月30日(月)に理学部ホームカミングデー2024「理学で広がる未来。人生を彩る多様なキャリア発見交流会」を開催し、同窓生、学生、教職員など、総勢162名の方々にご参加いただきました。

網塚浩理学部長の開催の挨拶の後、今布咲



講演する今助教



ポスターセッション・懇親会の様子

子助教による理学部創立100周年カウントダウン講演会「北大理学で育んだ私のキャリア」が行われました。
続いて、理学部及び関連大学院卒業生によるキャリアアトックが行われ、13名の卒業生が、学生時代の研究内容や現在の仕事内容などについてお話しされました。その後、門出健次理学部同窓会理事長(先端生命科学研究所教授)の挨拶により昼の部は閉会となりました。
引き続き、理学部1階エントランスホールと2階ラウンジに移動し、ポスターセッション・懇親会が行われました。村越敬教授の乾杯からは始まり、設置している22のブースでは、教職員や学生が同窓生との交流を深めていました。最後は、永井隆哉教授の挨拶で閉会しました。
今回の企画は新たな試みでしたが、参加者からは、「学生さんや教員の方々と交流できる機会は大変貴重でした」、「ぜひ継続してほしい」といった感想が寄せられました。

医学研究院・医学院・医学部

医学部ホームカミングデー
フラテ祭2024を開催

9月28日(土) 13時～16時
医学部学生会館「フラテ」ホール
参加者67名

医学部では、同窓生をはじめとする関係者の皆様との親睦をさらに深める目的で「フラテ祭」を開催しており、17回目の今年度は9月28日(土)に医学部学生会館「フラテ」ホールにて開催しました。本間明宏フラテ祭実行委員長の挨拶の後、医学部と病院のコースに分かれツアーを行い、講義室や実習室を見学しました。

講演会では浅香正博医学部同窓会長からの挨拶に続き、畠山鎮次医学部長、渥美達也北海道大学病院長による講演が行われた後、現役医学部生(フラテ編集部、アンサンブルフラテ)による活動発表が行われ、医学部の現状を発信しました。

続いて、学外でご活躍されている先生による特別講演が行われました。九州大学大学院医学研究院ウイルス学分野の福原崇介教授から「北大だから推進できた新型コロナウイルス研究」と題した講演が行われ、盛会のうちに終了しました。

参加者からは「医学部のこと、



百年記念館見学の様子



福原教授による特別講演

保健科学研究院

保健科学研究院
ホームカミングデー2024

9月28日(土) 13時30分～15時20分
対面Zoomによるハイブリッド開催
参加者39名

今年度は会場での実施のほか、ZoomによるWebでの実施のハイブリッド開催を行い、総勢39名の方々にご参加いただきました。

矢野理香保健科学研究院長からの挨拶に始まり、卒業生等による講演会、医学部保健学科・医療技術短期大学部同窓会総会が行われ



矢野研究院長の挨拶



高橋代表理事による講演



松野名誉教授による講演

矢野理香保健科学研究院長からの挨拶に始まり、卒業生等による講演会、医学部保健学科・医療技術短期大学部同窓会総会が行われ

講演会では、NPO法人あえりの高橋亜由美代表理事に「生涯人生を楽しむための方法とは? みなさんと一緒に「支え合える社会」をつくりたい」と題し、看護師勤務や障害者支援の経験を通じて感じた高度な医療と障害者支援のバランスの重要性、NPO法人立ち上げの経緯及び多岐にわたる活動の紹介、また、地域での助け合いの重要性についても触れられ、今後の活動がさらに充実することを期待される講演をいただきました。

続いて、松野一彦名誉教授に、「保健学科の創設から躍進へ」と題し、医療技術短期大学部から保健学科設置に至る看護教育の変遷、ご自身の血小板の活性化等に関する研究成果、そして臨床・研究・教育これらを全うできる新しい医療人を育成することが教育の使命であると激励を含め、大変貴重な講演をいただきました。

昨年度に引き続き対面・Zoomによるハイブリッド開催でしたが、盛況のうちに終えることができました。

本年度に引き続き対面・Zoomによるハイブリッド開催でしたが、盛況のうちに終えることができました。

講演会では、本学総合博物館の小林快次教授より、「恐竜絶滅と歯の関連性」についての講演が行われました。続く記念式典では、歯学部同窓会の森本達也専務理事の司会のもと、まず、渡邊岳彰同窓会長から式辞が述べられました。次に、日本歯科医師会の高橋英登会長、北海道歯科医師会の藤田一雄会長、本学の横田篤理事・副学長、網塚憲生歯学研究院長及び福島和昭名誉教授から祝辞が述べられました。そして記念祝賀会では、渡邊同窓会長の開会の挨拶の後、札幌歯科医師会の山田尚会長、及び北海道大学病院の佐藤嘉晃副病院長から祝辞が述べら

歯学研究院・歯学院・歯学部

歯学部ホームカミングデー
北海道大学歯学部同窓会50周年記念講演会・記念式典・祝賀会等

9月28日(土) 14時～19時
札幌パークホテル及びオンライン
参加者202名

9月28日(土)、ホームカミングデーに際し、北海道大学歯学部同窓会50周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会が開催されました。本学歯学部卒業生をはじめ、各歯科大学・歯学部同窓会代表や、部局間交流協定を締結している韓国の全北大学校歯科大学からも17名の教員が参加するなど、盛大な会となりました。

記念講演会では、本学総合博物館の小林快次教授より、「恐竜絶滅と歯の関連性」についての講演が行われました。続く記念式典では、歯学部同窓会の森本達也専務理事の司会のもと、まず、渡邊岳彰同窓会長から式辞が述べられました。次に、日本歯科医師会の高橋英登会長、北海道歯科医師会の藤田一雄会長、本学の横田篤理事・副学長、網塚憲生歯学研究院長及び福島和昭名誉教授から祝辞が述べられました。そして記念祝賀会では、渡邊同窓会長の開会の挨拶の後、札幌歯科医師会の山田尚会長、及び北海道大学病院の佐藤嘉晃副病院長から祝辞が述べら

れました。

記念講演会・記念式典・記念祝賀会は202名が参加し、温かな雰囲気の中で多くの方々が交友を深める場となりました。

なお、記念講演会及び記念式典の様子はリアルタイムで全国にWEB配信され、20名が視聴しました。

また、これに先立ち、同窓会50周年記念事業の一環として、八重桜の記念

薬学部・薬学研究院

「第25回生涯教育特別講座秋季講演会」を開催

9月28日(土) 14時～16時
薬学部臨床薬学講義室 参加者52名

薬学部生涯教育特別講座は、北大薬学部同窓生を含む医療関係及び関連領域の仕事に従事される方を対象に、医療における諸問題について最新の情報を提供することを目的として実施されています。



山本講師による講演



中馬准教授による講演

植樹、さらに構内中央道路沿いにあった「歯学部」の名前が刻まれた石碑の北13条道路(イチヨウ並木)沿いへの移設が行われ、9月11日(水)には、渡邊同窓会長、森本専務理事、網塚研究院長、及び宮治裕史副研究院長が記念撮影を行いました。

渡邊同窓会長の挨拶

祝辞を述べる
網塚研究院長



記念植樹された八重桜と

9月28日(土)、薬学部臨床薬学講義室において秋季講演会が開催され、薬局や病院などの薬剤師の方々をはじめ、薬学部学生や同窓生、教員等52名が参加しました。

初めに和歌山県立医科大学医学部解剖学第一講座の山本悠太講師による「身近なクニニカルクエスチョンを基礎研究へ」そして臨床研究への橋渡しの講演があり、身近なクニニカルクエスチョンをどのように研究に活かしていくかについて、ご自身の具体的な経験に基づきながら大変分かりやすく解説いただきました。

続いて旭川医科大学病院薬剤部副薬剤部長の中馬真幸准教授に

「臨床にまなび、臨床にかえす」職能と薬物治療の発展を目指して」のタイトルで、感染症の治療における実臨床から研究まで、病院部門で一貫して活動されてきたご経験ならではの視点でご講演いただきました。聴講者からは様々な質問が寄せられ、先生方は一つ一つ詳細にご回答くださいました。「臨床研究のテーマの選び方、解決方法など勉強になりました」「Invivoと臨床経験を融合した内容で、非常に興味深い講演でした」「すべてが結果に繋がらなくても研究をしていくことからも何かが生み出せるのかもしれない、と思いました」など多くの感想が寄せられました。

工学研究院・工学院・工学部

工学部創立100周年記念式典
及び記念講演会

9月27日(金) 14時～17時
オンライン 参加者10名

9月27日(金)に挙行了した北海道大学工学部創立100周年記念式典及び記念講演会をオンラインにて配信しました。

記念式典では、幅崎浩樹工学部長及び宮永喜一工学部同窓会理事長による式辞及び資金清博総長による挨拶の後、真弓明彦北海道電力株式会社名誉顧問・北海道大学ほかいどう同窓会長、鈴木直道



幅崎研究院長



資金総長による挨拶

北海道知事(三橋剛北海道副知事代読)、秋元克広札幌市長(ビデオレター)による祝辞をいただきました。記念講演会では、北海道大学経営協議会学外委員及び日本大学常務理事、特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事を務める渡辺美代子氏から「工学をめぐる多様性」、室蘭工業大学の松田瑞史学長から「北大工学部への期待(OBで同業者から)」と題したご講演をいただき、盛況のうちに終了しました。

情報科学研究院・情報科学院

北楡会・北海道大学情報系交流会

9月27日(金) 10時～13時
情報科学院研究棟A21会議室(開会・閉会式ポスター概要説明)、2Fラウンジ(ポスター発表、11F会議室(意見交換会) 参加者49名

情報科学院の前身となる情報科学研究所、並びに電気・電子・情報・生体工学系の各専攻・学科の同窓生で組織される北楡会と、情報科学院の学生・教員との交流会を、対面形式で実施しました。



講演をする横田氏



OBと現役学生

本年は、水産科学未来人材育成館の完成披露式の開催に合わせて、講演会と北水同窓会懇親会を実施しました。講演会では、本学部OBで総合博物館水産科学館館長の今村央教授に、「魚類分類学のすすめ―水産科学研究院で展開される魚類の基礎研究―」と題してご講演いただきました。講演内容は、魚類の系統分類と種分類の考え方とその重要性、国際命名規約と学名の成り立ち、新種の命名法等を、様々な魚類の実例とともに分かりやすく解説していただきました。出席者からの質問にも明快な回答をいただき、国際的かつ学際的な学問分野ならではの、大変興行きの深い知識が得られる講演でした。

ホームカミングデー2024
水産学部卒業生・在校生のつどい
9月29日(日) 10時～11時30分
函館キャンパス講義棟
参加者 講演会30名 懇親会59名

水産科学研究院・水産科学院・
水産学部／北水同窓会



野口教授の講演



野口教授による
ご挨拶

講演会には、同窓生や教職員、学生以外にも一

農学院・農学研究科・農学部では、ホームカミングデーの行事として、市民公開「新渡戸稲造記念講演会」を開催しました。本講演

9月28日(土) 13時～15時
農学部大講堂

農学院・農学研究科・農学部

近野敦情報科学研究科・学院長並びに伊藤明男北水同窓会会長からの挨拶に続き、北水同窓会OB・OGと学生による、ショートプレゼンテーション・ポスター発表会を行いました。発表件数は、北水同窓会OB・OGが6件、学生は21件でした。北水同窓会OB・OGによる発表は、今年度が初の試みです。伊藤会長をはじめとする北水同窓会の皆様と本研究院の教員が参加して開催された意見交換会では、北水同窓会と本研究院・学院の今後の連携の在り方等について活発な議論が行われました。



伊藤会長の挨拶



ポスター発表会の様子①



ポスター発表会の様子②

【プログラム】
・開会挨拶
情報科学研究科学院長・学院長
近野敦教授
北水同窓会 伊藤明男会長
・発表会(北水同窓会OB・OG・学生によるショートプレゼンテーションとポスター発表)
・意見交換会

会は、一般社団法人札幌農学同窓会と共に主催しており、明治31年発足の札幌農林学会が開催してきた学術講演会の中の特別講演会を継承・発展させてきた歴史を持ちます。平成9年以来、広く一般市民の方々にも公開しており、今年度も北方生物圏フィールド科学センター及び一般社団法人新渡戸遠友リビングラボによる共催、北海道や札幌市等54団体の後援をいただきました。

懇親会では、これまでにない函館キャンパスでの開催という特性を活かして、全国から駆け付けた卒業生と、現役学生の直接交流が実現しました(他に現任教員8名も参加)。参加した学生からは、自らの将来像を固めるために有益な情報を、卒業生から直接得られる良い機会になったという感想を聞くことができました。卒業生からは、現役学生の気質や考え方が分かったと同時に、抱えている悩みを直接聞いたことに触発され、かつて学生時代の悩みや不安を思い起こすことができ、大変懐かしい気持ちになったという感想をいただきました。懇親会の最後には都ぞ弥生と水産放浪歌を斉唱して、散会となりました。

環境科学未来人材育成館の完成披露式の開催に合わせて、講演会と北水同窓会懇親会を実施しました。講演会では、本学部OBで総合博物館水産科学館館長の今村央教授に、「魚類分類学のすすめ―水産科学研究院で展開される魚類の基礎研究―」と題してご講演いただきました。講演内容は、魚類の系統分類と種分類の考え方とその重要性、国際命名規約と学名の成り立ち、新種の命名法等を、様々な魚類の実例とともに分かりやすく解説していただきました。出席者からの質問にも明快な回答をいただき、国際的かつ学際的な学問分野ならではの、大変興行きの深い知識が得られる講演でした。

環境科学未来人材育成館の完成披露式の開催に合わせて、講演会と北水同窓会懇親会を実施しました。講演会では、本学部OBで総合博物館水産科学館館長の今村央教授に、「魚類分類学のすすめ―水産科学研究院で展開される魚類の基礎研究―」と題してご講演いただきました。講演内容は、魚類の系統分類と種分類の考え方とその重要性、国際命名規約と学名の成り立ち、新種の命名法等を、様々な魚類の実例とともに分かりやすく解説していただきました。出席者からの質問にも明快な回答をいただき、国際的かつ学際的な学問分野ならではの、大変興行きの深い知識が得られる講演でした。

9月27日(金) 15時～17時
オンライン 参加者53名

環境科学未来人材育成館の完成披露式の開催に合わせて、講演会と北水同窓会懇親会を実施しました。講演会では、本学部OBで総合博物館水産科学館館長の今村央教授に、「魚類分類学のすすめ―水産科学研究院で展開される魚類の基礎研究―」と題してご講演いただきました。講演内容は、魚類の系統分類と種分類の考え方とその重要性、国際命名規約と学名の成り立ち、新種の命名法等を、様々な魚類の実例とともに分かりやすく解説していただきました。出席者からの質問にも明快な回答をいただき、国際的かつ学際的な学問分野ならではの、大変興行きの深い知識が得られる講演でした。

般市民を含め50名以上が参加し、野口伸農学研究院学長による開会挨拶の後、副学長の野口順教授から「新渡戸稲造と新渡戸カレッジ」と題して、ご講演いただきました。新渡戸稲造の生涯や著書『武士道』から新渡戸の精神が解説され、それを受け継ぎたいとの思いから設置された新渡戸カレッジの活動についても紹介されました。講演後には、参加者から質問や感想が寄せられ、最後に札幌農学同窓会理事長の松井博和名誉教授から閉会挨拶があり、大変盛会のうちに終了しました。

獣医学部

令和6年度

獣医学部同窓会通常総会

9月28日(土) 13時～16時

獣医学部同窓会 参加者47名

令和6年度獣医学部同窓会通常総会は、獣医学部同窓会講堂で47名の出席者(オンライン出席3名を含む)のもと開催されました。



通常総会の審議風景

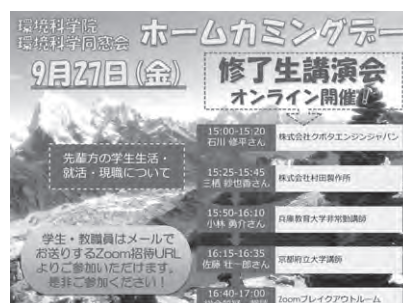


通常総会後の集合写真



懇親会の様子

ム後、引き続き、懇親会を開催しました。1時間少々の短い時間でしたが、同窓生、学生が交流を深める会となりました。



ポスター



講演者の皆さん(左4名)と
司会の先崎理之先生(右)

エンジンジャパン、三栖紗也香さん(株式会社村田製作所)、小林勇介さん(兵庫教育大学)、そして佐藤壮一郎さん(京都府立大学)です。現職の企業を選んだ理由や「中の人」(関係者)

環境科学未来人材育成館を背景に屋外よりご挨拶をいただき、修了生の皆さんには懐かしい学び舎をご覧いただきながら、講演会が始まりました。今回は日本各地より4名の修了生に講演いただきました。講演者は石川修平さん(株式会社クボタ

国際広報メディア・観光学院

ホームカミングデー@IMCTS
修了生meet在校生2024

9月28日(土) 14時～18時
メディア・コミュニケーション研究棟
参加者20名

秋晴れの9月28日(土)、国際広報メディア・観光学院では、「修了生、活躍中!」というテーマで修了生2名による講演会及び懇親会をメディア・コミュニケーション研究棟407室で開催しました。奥聡国際広報メディア・観光学院長による開会の挨拶の後、まず

八つの議案が審議され、全て可決承認されました。本年の議案には、今後の同窓会報・名簿の発行形態という重要な審議が含まれ、活発な議論が交わされました。同窓会総会に引き続き、第13回北海道大学獣医学部同窓会フォーラム「国際共修、多文化間共修環境の先進部局として」を開催しました。獣医学部及び獣医学研究院が実施している活発な国際活動の一端を同窓一同が共有することを目的として、担当教員等からのプログラムの説明に続き、実際に活動を経験した学生から体験談を話していただきました。

学部の取り組みでは、タイ、イギリス、ザンビアでの活動内容、大学院の取り組みでは、卓越大学院プログラムに関連した内容を紹介いただきました。改めて、獣医学部及び研究院が「国際共修、多文化間共修」を活発に推進していることを実感しました。フォーラ

でないと分からない業務内容や遣りがい、業務から学びとなっていることや、大学院時代の研究が活かされている場面など、詳しく分かりやすくご講演くださり、学生等参加者にとっては非常に有意義なものとなりました。

本学院4期生の遠山りえ氏(札幌国際法律事務所)による「あなたの知らない弁護士の世界」と題した講演が行われました。遠山氏は業界の仕組みや職務内容を、明瞭かつユーモアたっぷりの語り口で分かりやすくお話ししてくださいました。ドラマや映画に登場する弁護士と実際の弁護士のふるまいの違いなど、普段聞くことができない興味深い内容に、皆熱心に耳を傾けていました。



展示の様子

館では科学研究費補助金の採択により北方資料館で公開しているデジタル画像の高精度化を進めて

本企画展示では、特に江戸初期から明治初期にかけて作成された特色ある北海道図を10点選出し、地図の変遷をたどりまし

現在、図書

費補助金の採択により北方資料館で公開しているデジタル画像の高精度化を進めて

現在、図書

産学・地域協働推進機構は、本学最初の女性の教授となつた数学者桂田芳枝の業績を紹介した企画展示①では、村守隆男氏から新たに「寄贈いただいた、桂田芳枝による特別講義「大域の微分幾何学特講」の記録ノート（1969年）も公開しました。



カフェ de ごはん
北大食材のプレート



展示ブース

*マインド食：(MIND: MediterraneanDASH Intervention for Neurodegenerative Delay) は、「地中海食」と、高血圧の予防を目的とした「DASH食」を掛け合わせた食事法のことで、加齢による認知機能低下を遅らせる食事パターンとして注目されています。

附属図書館は、創基150周年記念事業の一環として、パネル企画展示「北方古地図展（第一期）北海道図の変遷」を、8月23日（金）から9月29日（日）まで開催しました。

附属図書館

企画展示

9月28日（土）～9月29日（日）9時～17時
附属図書館本館正面玄関ロビー
参加者：北大関係者、一般市民等

「数学者桂田芳枝が切り拓いた女性研究者の道」等を公開

9月28日（土）～9月29日（日）9時30分～16時30分
大学文書館 参加者44名

大学文書館

企画展示

「数学者桂田芳枝が切り拓いた女性研究者の道」等を公開

9月28日（土）～9月29日（日）9時30分～16時30分
大学文書館 参加者44名



沿革展示室



展示回廊

パスについても、キャンパスの風景やおもしろ丸の写真をパネルにて紹介しました。

期間中、卒業生の方や、平日開館日には来館できない一般の方々などが訪れ、両日あわせて44名が見学されました。見学者の方からは、「白壁館」や、1960年代頃の中央ローンの風景を懐かし

産学・地域協働推進機構

北大ブランド商品についての紹介
北大の研究成果を活かした商品の紹介

9月27日（金）～9月29日（日）8時30分～20時30分
インフォメーションセンター「エルムの森」

産学・地域協働推進機構は、本学最初の女性の教授となつた数学者桂田芳枝の業績を紹介した企画展示①では、村守隆男氏から新たに「寄贈いただいた、桂田芳枝による特別講義「大域の微分幾何学特講」の記録ノート（1969年）も公開しました。

産学・地域協働推進機構は、本学最初の女性の教授となつた数学者桂田芳枝の業績を紹介した企画展示①では、村守隆男氏から新たに「寄贈いただいた、桂田芳枝による特別講義「大域の微分幾何学特講」の記録ノート（1969年）も公開しました。



屋上から説明する後藤農場長

た。同窓生の皆様から学生時代に「講義や研究の合間にふらつと来ていた」等コメントがあり

アドミッション本部（北大キャンパスビジットプロジェクト）（校友会エルム共催）

キャンパスツアー

現役北大生と巡る札幌キャンパス

9月28日（土）13時30分～15時
札幌キャンパス 参加者10名

現役北大生と巡る札幌キャンパスと題したキャンパスツアーは、北大キャンパスビジットプログラムのスタート地点として実施し、卒業生や元教職員の方々に参加して



古河講堂の紹介



北大ワインテイスティング・ラボの紹介

北大キャンパスビジットプロジェクトでは、例年、年に数回、一般市民や受験生向けのキャンパスツアーを行っており、今回ご参加いただいた方々からお伺いしたお話も参考に、より良い企画を実施してまいります。

学教員になるまで、なつてから大学院卒業後のキャリア形成が行われました。金氏は修士号・博士号を本学院で修められたあと、日本国内の高等教育機関で教職に就かれています。ご自身の経験とそこで感じられた気づきや問題意識を、こちら

北方生物圏フィールド科学センター

植物園の縦覧見学、

「北大農場」ミニツアーの報告

・植物園の縦覧見学
9月28日（土）9時～16時30分
植物園 参加者21名



植物園で受付記帳する同窓生

植物園においては、ホームカミングデー特設窓口を設置し、卒業生等を出迎えました。幅広い年代にわたる21名の卒業生等が道内外から来園し、庭園、博物館・宮部金吾記念館などを懐かしそ



遠山氏による講演



金氏による講演

で、他の修士生にとつても在学学生にとつても、非常に学びの多い時間となりました。その後の懇親会でも昔話や互いの近況報告に花が咲き、終始和やかな雰囲気の中で

大学院教育推進機構リカレント
教育推進部

「北大道新アカデミー体験受講
古文書から紐解くツルと人の関係
史」を開催

9月28日(土)15時～16時30分
高等教育推進機構 参加者3名

大学院教育推進機構リカレント
教育推進部は、9月28日(土)、
高等教育推進機構N1講義室にお
いて「北大道新アカデミー体験受
講 古文書から紐解くツルと人の
関係史」を開催しました。この体
験受講は、9月から11月の土曜日
に合計8回開催される、令和6年
度北大道新アカデミー総合コース
「動物と人間社会」科学・歴史・
文化から問い直す」を今回の
ホームカミングデーの来場者のた
めに開放したものです。

講義は、歴史鳥類学、博物誌を
専門とする、文学研究院の久井貴
世准教授が担当しました。古文書
の記録からツルの生息状況や人
との関わりの歴史を紐解き、今
後の向き合い方について考える
内容です。来場者が気軽に体験受
講に参加できるように、北大道新
アカデミーとは別の教室を準備
し、講義をオンラインで配信する
形式で行いました。3名の来場者
は、最後まで熱心に講義を聴講し
ていました。

創基150周年記念事業企画運営
委員会 情報発信施設検討WG

コミュニケーション活性化拠点
「ENLIGHT」社会連携プロジェクト
構想発表会

9月28日(土)13時30分～15時
オープンイノベーションフロンティア
参加者：24名

情報発信施設検討WG
では、150周年記念の
機運醸成及び研究の社会
実装を目的として、学内
の農林水産領域研究を起
点に、地域産業・行政と
連携した「北海道の次の
150年」を構想し、実
装に向けた具体的なアク
ションへつなげるための
プロジェクトの設計を進
めています。今回は、ホー
ムカミングデーの開催に
合わせて、そのキックオ
フイベントとして「コミュニケー
ション活性化拠点『ENLIGHT』社
会連携プロジェクト構想発表会」
を開催しました。



パネルディスカッションの様子

講演する後藤教授

名辺健人氏、産学・地域協
働推進機構の齊藤大地准教
授、白老町農林水産課主査
の安藤啓一氏の3名による
パネルディスカッションを
行いました。

会の実現への挑戦」と題して講演
が行われました。
その後は、株式会社サイバコの
岩瀬峰代代表取締役がモデル
タワーに加わり、次世代畜産の研究
から実装を目指す後藤教授の研究
を軸に、研究・行政・事業の立場
から、後藤教授とクラウドファ
ーム株式会社代表取締役の田
村健人氏、産学・地域協
働推進機構の齊藤大地准教
授、白老町農林水産課主査
の安藤啓一氏の3名による
パネルディスカッションを
行いました。

創基150周年記念事業企画運
営委員会(創基150周年記念
事業準備事務局)

創基150周年記念事業紹介
9月28日(土)10時～16時
オープンイノベーションフロンティア
参加者87名

創基150周年記念事業企画運
営委員会は、創基150周年カウ

ほっかいどう同窓会
(校友会エールム共催)

ランチパーティー

9月28日(土)12時～14時
百年記念会館 参加者60名

9月28日(土)に百年記念会館
にて「ほっかいどう同窓会ランチ
パーティー」を開催しました。ホー
ムカミングデーでは恒例行事と
なっている本ランチパーティーで
すが、今年は新型コロナウイルス
感染症の影響で久々の開催となっ
た昨年よりも同窓生や元教職員、
現役教職員の参加者が増え、實金
清博総長をはじめ大学執行部の先
生方を交え賑やかな会となりました。
ランチパーティーはほっかい
どう同窓会の真弓彦新会長、實金
総長の挨拶で始まり、本パート
ーのドリンクの協賛をいただきました
株式会社幸楽輪送社長の不動直
樹様の乾杯のご発声で歓談となり
ました。



ランチパーティーの様子

た。東京より駆
けつけていただ
いた校友会エ
ールの石山喬前
長、東京同窓会
の廣重勝彦様よ
り会の途中でこ

挨拶をいただき、横田篤理事・副
学長の締め挨拶で2時間弱の会
は終了となりました。来年も再び
多くの会員の皆さんが気軽に集う
楽しいランチパーティーになるこ
とを願っております。

一般社団法人恵迪寮同窓会

北大学寮(恵迪寮)150周年
カウントダウンイベント 誇り高
き自治寮よ永遠に！恵迪寮改
修問題を考えるーシンポジウム

9月28日(土)13時30分～15時30分
クラーク会館 参加者59名

現在の恵迪寮は築40年を超え老
朽化が進み、喫緊の課題である改
修問題について広く認識を共有す
るために企画しました。

まず、本同窓会の藤田正一副理
事長(元副学長)は、「学寮は学
生の経済的救済・人格形成・文化
創造の場などの多様な機能を持
ち、これらの教育効果は自治寮で
あることにより実現できる。札幌
農学校寄宿舎以来の歴史がある寮
自治こそ、『北大に通底する精神』
の生きた継承の場だ。ホームカミ
ングデーになると、思い出したよ
うにクラーク精神を語り、入学式・
卒業式では『都ぞ弥生』を歌うが、
その生きた継承者たる恵迪寮は少
しも大切にされていない。これで
よいのか」と、自治寮としての存
在意義について語りかけました。



恵迪寮改修問題を考える

次に、恵迪寮
自治会大規模
改修専門委員会
の鎌倉大輔委員
長は、平成26年
の大規模改修の
頓挫の経緯と反
省、及び当面の課題について報告
し、今なお先行きは不透明だが、
未来の困窮学生支援と寮自治の継
承の為に、寮の存続を第一とし
て、改修の現実的な課題には柔軟
に妥協点を見出し、建設的に交渉
を行っていく方針を発表し、理解
と支援を求めました。

最後に、同窓会の吉沢武治代表
幹事は「恵迪寮の存続は全同窓
生の共通要求であり、躯体調査の
結果も建替え不要のようだ。北
大フロンティア基金での寮改修
支援募金をはじめ、大学・自治会・
同窓会の三者懇談会等により北
大の担当理事、関係者と相互理
解を一層深め、恵迪寮の早期改
修を何としても実現する」と決
意を述べました。

寮歌の集い

9月28日(土)16時～18時
クラーク会館 参加者69名

シンポジウムに引き続き、同じ
会場で道内外からの同窓生をはじ
めとする多彩な参加者69名を得
て、「寮歌の集い」を行いました。
まず、恵迪寮同窓会の横山清理

ントダウンイベントとして実施し
たホームカミングデー2024に
おいて、創基150周年記念事業
の紹介等を行いました。
創基150周年紹介動画(3
面)の上映、主な記念事業のパ
ネル展示、「北大百年史」「北大
百二十五年史」「北海道大学百五
十年史(資料編1)」等の閲覧展示を
行いました。

また、株式会社HBCフレック
スの協力により、企画・北海道大
学、制作・北海道放送映画株式
社(現HBCフレックス)「エル
ムの学園」(1964年、42分間、
16mm映画)のデジタルアーカイブ
を限定公開しました。パソコン3
台を用意して視聴いただきました
が、お待ちいただく方が出るほど
の盛況ぶりでした。

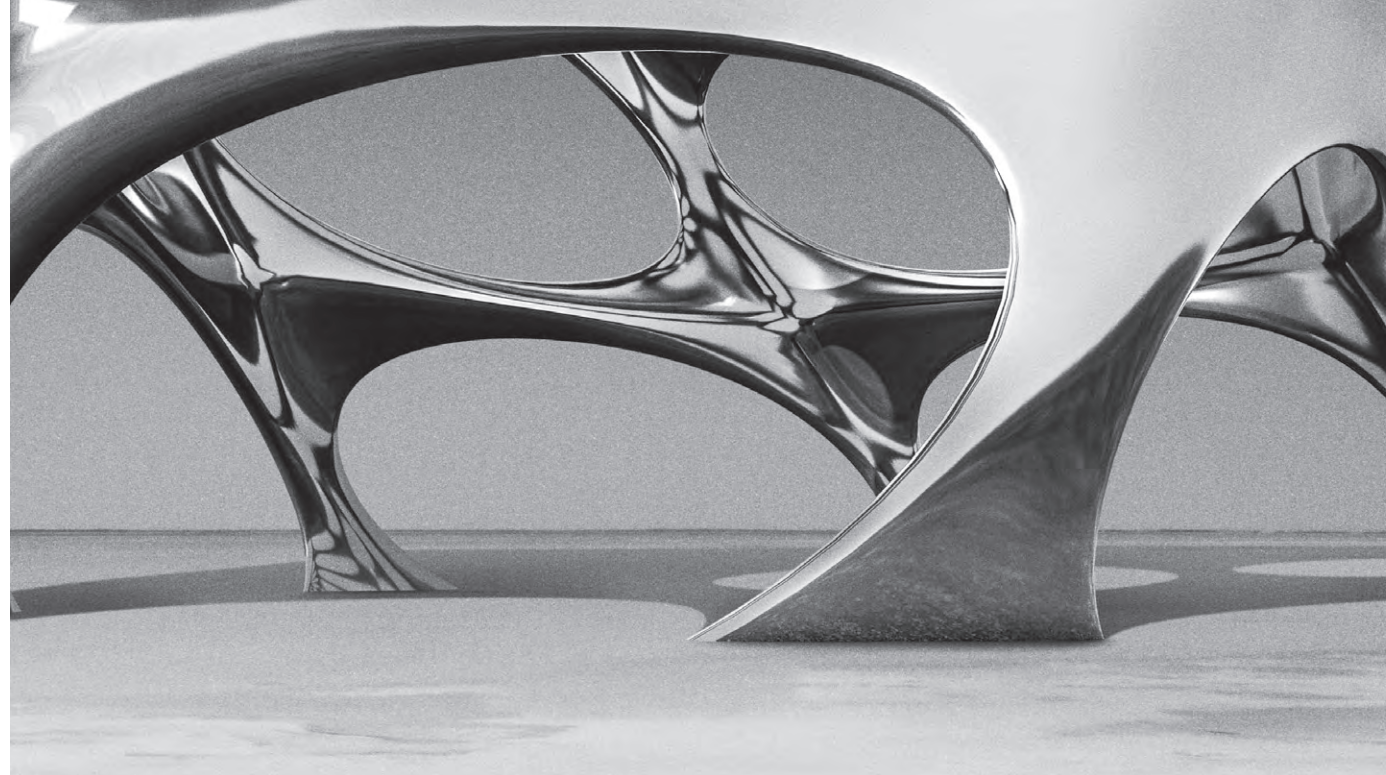
「自分は昭和41年入学なので、ほ
ぼ同時期の映像は懐かしい」「父の
働いていた頃の様子を知りたく、
母と視聴させていただきました」
「限定公開ではなく、YouTube上
で公開しては」「北大キャンパス施
設の資料建築・環境・景観・計画」
をしっかりとまとめておく」等々ご
意見をたくさんいただきました。
この場を借りて御礼申し上げます。
今後も、150周年に向け、ま
た、その先の150年に向け、意
義ある記念事業に取り組んでいき
ます。

事長、北海道恵迪寮同窓会の内藤
春彦会長の挨拶、「都ぞ弥生」の
斉唱、恵迪寮同窓会の藤田正一副
理事長による乾杯があり、しばら
くの懇談の後、プログラムは「寮
歌高唱」へと移りました。

第一部は、「寮歌に歌われた地
名をたどる」と題して、参加者
全員で北海道を旅しました。恵
迪寮寮歌に多くの地名が歌われ
ているからこそその企画です。都
で「清き国」を憧れるところか
ら、津軽海峡を越えて来道し、
北海道の各地や札幌市内を歌で
享受しました。明治40年から今
日まで連綿と作り続けられてい
る恵迪寮寮歌の奥深さを改めて
知ることができました。

第二部は、小樽商科大学の友
情出演、現役寮生による最新寮
歌の披露、応援吹奏団による演
奏でした。

第三部は、代表寮歌や新しい寮
歌の大合唱でした。同窓会の行事
に駆けつけてくれた約20名の現役
恵迪寮生の若々しい歌声に、多く
の同窓生は元気をもらうことも
に、寮歌が今もなお生きているこ
とを実感しました。最後は全員で
肩を組んで、「都ぞ弥生」1～5
番を声高らかに歌いました。
最後に、北海道恵迪寮同窓会の
千川浩治副会長からの閉会挨拶で
お開きとなりました。



病気だけでなく、
創薬の常識にも立ち向かう。
未知のイノベーションで、
病気より先に未来へ行く。
できそうもない薬でなければ
私たちが生み出す意味はない。

創造で、想像を超える。



中外製薬

Roche ロシュ グループ

風景との対話

お供はスケッチブックと缶ビール

福林 紀之（S39理・地質）

学科は理学部地質鉱物卒。部活はヨット部。小樽でヨットにうつつを抜き、地質調査と称して山野を歩き回ったのが札幌時代の生活。

4年の卒論のころ、実験試料の岩石採取に、教室の八木健三教授と深川あたりの低山に出かけた。

弁当箱くらいの大きさに割り採った安山岩をいくつか集め、その晩は鄙びた山の湯に入る1泊2日の旅。

昼飯時、重い石を担いでよれよれになって山頂にたどり着くと、先生はすでに缶ビールを片手に、小さな画帳に周辺の山をすらすら

とスケッチしているではないか。なんとも爽やかで抒情的な光景であつた。大人になったら、こういう風に生きたいものだなあ。教授から教えられた地質学の学問は何か一つ覚えていないが、この刺激的な光景だけを覚えている。

旅に出て、その場の印象を小さなスケッチブックに残すのは、なんとも楽しいものである。

最近山登りがだんだんきつくなつたので、専ら川の土手を歩くことが多い。多摩川や相模川などてくてく下り、やっとこさ海に出たときの達成感がなんとも楽しい。富士山を右に見ながら酒匂川を下ると、目の前に小田原の海が広がる。

ザックからビールと画帳を取り出し、河口の砂浜に咲くハマヒルガオを前景にして海を大きく描き乱雑に色を付ける。街まで歩けば、またビールと天ぷらにありつける。

大雪山のてっぺんは夏でも雪溪が描けるので好きな山である。残雪の白とはい松の緑が見事なコントラストを演じている。

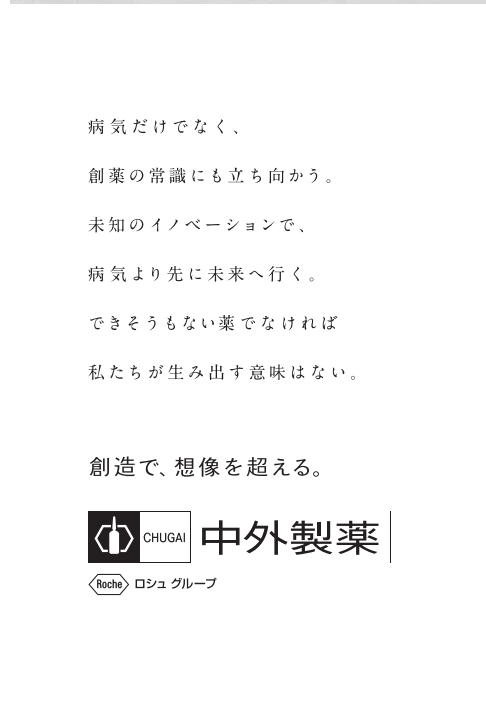
北大の構内には絵心を誘う農場や古い学舎が沢山ある。形や色合いが個性的で、ここは日曜画家のメッカである。ある冬の朝、ひと気のない構内で絵筆を走らせたこともある。

ヨットで尋ねる島々でのスケッチも楽しい。最北の名山・利尻富士や、伊豆諸島・神津島の天上山などは、海からは迫力満点の眺めだ。

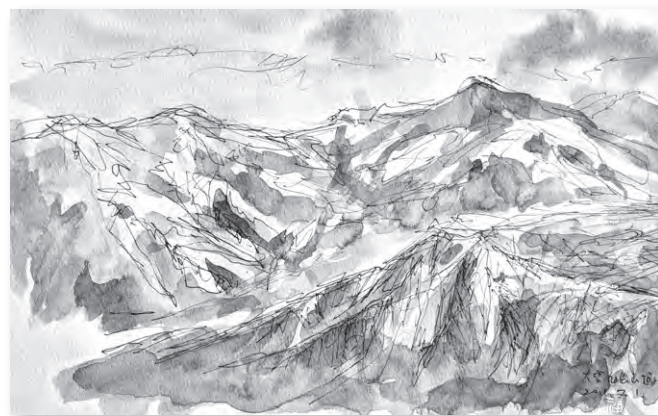
スケッチはササッと描いて、ちよこちよこつと色を付ける。絵と言う程のものではない。黒百合会の画伯たちに言わせれば、絵画でも何でもない。でもそれが楽しいのだから、仕方がない。

あつちをうろろ、こつちをうろろしながら、小さなザックの中にF3のスケッチブック、保冷材にくるまったビール缶一本と握り飯をいつもお供に持つてゆく。

『昼飯は何かうまい』と聞かれたら、旨い空気を吸いながらの、握り飯とプッシュと開けたビールと答える。



教養本部・古河講堂



大雪・旭岳にて

「ご縁」でたどりついた富山から 北海道愛をこめて

◆「礎石」となった5年間

1988年入学、5年間の大学生活で1993年春に卒業した佐藤一絵と申します。2024年4月からご縁をいただき富山県副知事を務めています。

生まれは函館ですが3歳まで。その後の育ちは札幌・苫小牧・帯広で、札幌の高校時代から近くの北大キャンパスに遊びに行っていました。

北大では1年の民法の授業についていけずに、法曹の道は早々とあきらめ（笑）、政治学を専攻することに。そして1年後期の教養ゼミの指導教官から「人生をまじめに考えたいなら、自らを律する



1992年6月北大南門前
(左から2番目が本人)

ためにも留学しろ」と言われたことを真に受けて、クラーク博士つながり姉妹校であるマサチューセッツ州立大学に3年秋から1年間、交換留学させてもらいました。英語は得意と思っただけで、大学の受験勉強とは比べ物にならないくらい寝る暇もないほど勉強したアメリカでの日々。それを乗り越えられたおかげで、タフさが身に付き、社会人になってからもいろんなことがありましたが、これまで何とかやってこれたかな、と思います。そういう意味で、大学5年間は「礎石」になってくれたと感じています。

◆記者・編集者そして官僚

新聞を読むのが大好きな子どもだったこともあり、1993年春に北海道新聞記者として社会人生活をスタートさせました。岩見沢、札幌（内勤）、東京、シンガポールと勤務しましたが、東京で結婚したのを機に12年半の記者生活に別れを告げて、東京大学出版会の



富山県副知事
佐藤 一絵
(H5・法)

編集者に転身したのが2005年秋。2年半の編集者生活では十数冊の学術書や教科書を担当し、立花隆さんとも本づくりをさせてもらいました。編集という仕事自体は楽しかったのですが、東京は終の棲家ではないな、いずれ北海道に帰りたいなという思いもあった中、たまたま「農林水産省が総合職で経験者採用の募集を開始」というのを目にして、食えることは大好きだし、農業は大事だし、北海道に帰ってから役立ちそう、とダメもとで採用試験を受けたところ、合格させていただいて、官僚に転身したのが2008年春です。2回も転職することになったのは、大学卒業時には全く想像していませんでしたが、官僚生活はあっという間に16年を数え、17年目に富山県副知事への出向という、3回目の転職に近い形で富山にやってきました。

◆富山県と北海道のご縁に感謝

これまで富山とはほぼご縁がなく、プライベートでは大学5年生の時にアメリカ留学で仲良くなった友人を訪ねて黒部市と旧利賀村を訪れたことがあっただけ。あとは農水省に入ってから出張で2回、短時間立ち寄ったのみでした。副知事として赴任することが内定してから、「北前船のつながり（だから昆布文化が根付いている）」富山から北海道への開拓移住も多い（だから北陸銀行も道内にたくさんあったりする）」「北方領土からの帰還者は、道内の次に富山県が多い（だから黒部市に県立北方領土史料室がある）」といったことに気づかれました。そして道内の知人から「自分のルーツは富山県だ」というご連絡も複数いただいたのです（ちなみに私の家は父方が静岡県、母方が福井県ルーツでした。加えて、私の上司である新田八朗富山県知事の実姉が、前北



黒部市にある
県立北方領土史料室

海道知事の高橋はるみ参院議員、というご縁も今はあります。

富山に来てからは、道産子であるおかげで、北陸銀行の方々はじめ仕事の関係で出会う多方面の皆さんとも北海道話で盛り上がることも多く、12月には道内出身者や大学・勤務での道内在住経験者による「富山どさんこ会」の忘年会を開催、約60名で交流しました。そのほぼ半数が北大卒業生ということで、北大から長谷川副理事や廣重東京オフィス副所長も駆けつけてくださいました！



富山どさんこ会で盛り上がりました！

◆副知事の役割を模索中

私が仕事をさせていだいてい富山県庁の本庁舎は今年で築90年を迎える登録有形文化財です。昭和20年8月、終戦直前の大空襲でも生き残った数少ない建物で、副知事室は、正面玄関から入るとすぐ目の前にある趣のある階段の先にあります。

副知事は2名体制で、それぞれ担当部局を持っており、私は知事政策局（デジタル化、男女共同参画、広報・ブランディングなど）、農林水産部、商工労働部、生活環境文化部、企業局（県営水力発電など）を主に見えています。県庁OBであるもう一人の副知事にアドバイザーいただきながら、多岐にわたる施策の検討・県議会答弁・イベント対応等、慌ただしく日々が過ぎていきます。

私としては、国から来ている副知事の最大の役割は、組織の横串を通すこと、だと思っています。VUCAの時代で県政にも常に新しく柔軟な発想が求められる場面が多い中、県庁組織の意外に（！）厚い縦割りの壁を取り払い、連携して対応するよう的確なアドバイスを心掛けています。

県政の目下最大の課題は、昨年4月に県人口100万人割れという節目を迎えた人口減少社会への



富山県庁舎正面

対応。国全体の課題でもありますが、人口が減ってもウェルビーイングを実感できる社会づくり、つまり人口減少社会への適応策を県全体として考えていくためには、まさに部局横断で対処していく必要があります。フューチャーデザイン（富山らしさ）を出せるような施策を作ろうと、頭を悩ませているところです。

同時に、都道府県の難しさ、というのを感じます。市民に一番近い基礎自治体としてミクロな施策を展開する市町村と、オールジャパンのブランドデザインをマクロで実行していく国との間で、都道府県として、どう力を発揮すべきか。様々な議論がありますが、自分なりの理想像を模索中です。

◆地方創生を現場から

富山県といえば、「標高3000メートルの立山連峰から水深1000メートルの富山湾まで、高低差4000メートルの大パノラマが広がる」というのが最大の

セールスポイント。一方で、県外の方々から見た知名度や魅力度のランキングでは47都道府県の中心であることから、今はこのセールスポイントをより実感してもらえよう、「寿司といえば、富山」をキャッチフレーズに掲げ、魅力の発信に力を入れています。

ただ、人口減少という厳しい現実を乗り越え、地方の暮らしそのものの魅力を高めていくためには、あらゆる分野で地道な取組を積み重ねていくことがやはり必要だと思っています。国よりも現場に近い行政の場で、この課題に取り組めることにはとても意義を感じています。副知事という責任の重さを受け止めつつ、微力ながら貢献できるような努力したい。還暦まであと5年になり、大学時代の恩師の当時の年齢よりだいぶ上になって、つくづく歳を感じますが（笑）、それでもいろいろなご縁のおかげで新しいチャレンジができるこの環境に恵まれたことに感謝しています。

富山県民になった率直な感想としては、晴れた日に立山が見えるのが気分爽快！ですし、食べ物北海道とはまた違うおいしさにあふれていて、魅力を実感しています。首都圏・関西圏・中京圏からもアクセスがよく、札幌との直行便もあります！ぜひお運びくださいませ。

野生鳥獣の利活用事業と 北海道大学での学び

2000年 北海道大学農学部
森林科学科（森林施設計画学講
座）卒業、2003年同大学院農
学研究科環境資源学専攻修了の石
崎と申します。

私は、森のやっかいものとされ
駆除対象になっていた二ホンジ
カ、イノシシの肉の卸流通を行
う、株式会社クイージ（東京都日
野市）の代表取締役をしておりま
す。また、エゾシカ肉の生産を行
う株式会社北海道食美樂（北海

新冠町）、イノシシ肉の生産を行
う株式会社おち山くじら（島根
県美郷町）の代表取締役も兼任し
ております。

本稿では、我々の事業を紹介す
るとともに、「二ホンジカ・イノ
シシ」を資源として扱う多少マイ
ナーな事業に取り組むきっかけと
なった北海道大学との関わりにつ
いて振り返りたいと思います。

ちなみに学生時代は真面目な学
生でした。入学が1996年で大

学院前期修了が2003年、合計
7年間を大学で過ごすほどに…。
そのおかげで当時の先生や先輩・
同期・後輩まで、今でも多くの北
海道大学関係者に応援、ご指導を
いただける関係が続いており、大
変感謝をしております。

◆野生鳥獣利活用事業に ついて

株式会社クイージは、まだ「ジ
ビエ」という言葉が世の中にそこ

自社工場で製造している商品



豚肉モモ



豚肉バラ



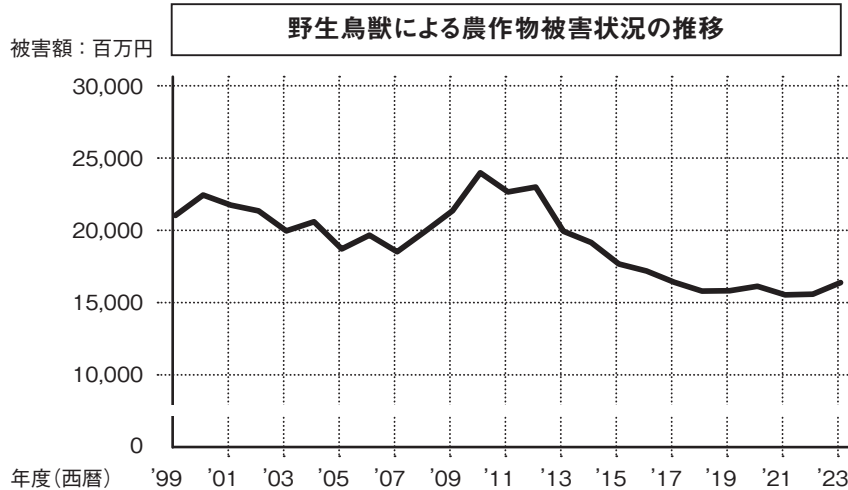
豚肉ソーセージ



エゾシカ肉（ハンバーグ用）

①野生鳥獣肉卸事業

シカやイノシシなど野生鳥獣
による農林水産業の年間被害額
は、2010年の約240億円を
ピークとして減る傾向にあったの
ですが、2015年ごろからは
年間160億円前後を推移してい



ます（農林水産省調べ）。国及び
地方公共団体は被害の原因となる
野生鳥獣の駆除や駆除捕獲後の対
策に多くの予算を費やしているの
ですが、その駆除されたシカやイ
ノシシの8〜9割は捕獲者による
自家消費か焼却・埋設等での処分
であり、食肉として消費者に届く
のはほんのわずかである
のが現状です。本来森の
恵みである野生鳥獣は、
地域にとってここ長らく
「やっかいもの」であり
「コスト」でもあり続け
ました。

こうした状況を打開す
べく、クイージでは設立
以来、シカ肉、イノシシ
肉を野生鳥獣被害に悩む
地域から買い取り、商流
を構築し、東京や大阪を
中心とした都市圏という
「巨大な胃袋」へ供給、
地域に収益をもたらす事
業を展開しています。

現在、取り扱っている
食肉は子会社のある地域
（島根県美郷町、北海道
新冠町）が中心ではあり
ますが、その他の地域（北
海道新得町、広島県、福
岡県、長崎県など）から
も仕入れを行っています
。販売先は関東近郊の



ガイドラインに準拠した食肉処理場

レストランを中心に、現在400
店舗程度まで拡大しています。
なお、野生鳥獣肉の調達は現
在、法律で衛生基準などが定めら
れているわけではありませんが、
より安心・安全なお肉を供給すべ
く、いわゆる「知り合いの猟師さ
んからのおすそ分け」ではなく、
北海道など自治体それぞれ独自
で作成し、公表している野生鳥獣
肉の「衛生マニュアル」や「食肉
処理ガイドライン」に準拠してい
る食肉処理場にて処理された鳥獣
肉を、食肉処理業（食品衛生法）
の営業許可を取得している地域の
事業者さんを通じて調達していま
す。まだまだ食肉としての様々な
法律・制度が構築途上である野生
鳥獣肉ですので、新規調達する際
は実際にどのような処理場で処理

②野生鳥獣肉生産事業

野生鳥獣肉の生産は、野生動物
の捕獲からスタートします。その
ため、季節や天候、年によっても
生産量が変わります。また、牛や
豚といった畜産動物は生きたまま
搬送することが可能ですが、野生
動物は捕獲後に搬送するため、腐
敗等のリスクを避けるために動物
を肉にする食肉処理を集約化でき
ません。牛肉や豚肉のように効率
的に生産できるわけではないた
め、その調達には多くのコストが
かかり、「野生鳥獣」を「肉」と
して販売するだけでは、事業とし
て成立できないことがあります。

また、野生鳥獣肉生産事業だけ
では、地域にもたらされる収益は
そう多くはないため、クイージは
島根県邑智郡美郷町と産業活性化
連携協定を締結し、子会社「株式
会社おち山くじら」を2015
年に設立しました。地域で捕獲
されたイノシシを受け入れ、精
肉生産事業及び、イノシシ肉を使
用した缶詰製造事業を行っていま
す。地域内に缶詰工場を新設し、
地域住民を雇用し缶詰生産するこ
とで、イノシシ肉に付加価値を付
け、地域により多くの収益をもた



株式会社クイージ 代表取締役

石崎 英治
(H15・農・修)

まで浸透していなかった2010
年に設立しました。現在クイ
ージの子会社、株式会社おち山く
じら（島根県邑智郡美郷町）、株式
会社北海道食美樂（北海道新冠郡
新冠町）とともに、主に「①野生
鳥獣肉卸事業」「②野生鳥獣肉生
産事業」「③野生鳥獣利活用に関
わるコンサルティング事業」とい
う、3つの事業を展開しています。



故 夏目俊二先生(右から2番目、左端は筆者)

これまで弊社は、シカ・イノシシを中心とした野生鳥獣の利活用を通じて、地域の農林業被害を軽減すること、また駆除・廃棄してきたシカ・イノシシを地域資源として価値に変え、地域に収益として還元することを目指して事業を展開してきました。

「ジビエ」という言葉が日本に浸透しつつあり、野生鳥獣を利活用するビジネスに多くの地域・事業者が取り組み始めています。

弊社のターニングポイントには、ジビエ肉の流通業から発展し、その生産を始めたことだと思っています。2013年に支店を設置し、2015年に株式会社

をおおち山くじらを設立した島根県の中山間地域・美郷町の取り組みは、地域住民による鳥獣害対策や捕獲のモデルケースであると感じています。

美郷町では、ハンターがイノシシを捕獲するのではなく、農家が町のあちこちに罠を仕掛け、農作業の合間に見回りをするにより、効率的な捕獲を可能としています。その罠は現在、町内に200箇所にもなっています。それが年間約300頭、精肉にして約10トンの出荷を可能としており、関東圏という消費地の需要に答える生産を支えています。この仕組みは、実は他地域に類を見ないものであり、この野生鳥獣利活用の取り組みに、年間1000人以上の視察が美郷町を訪れるまでになっています。

しかし、今後はもう一段階視野を広げ、「地域の存続」に寄与する事業展開を考えざるえない状況に來ていると感じています。美郷町は、平成の30年間で人口は約6割になり、高齢化率は4割を超えました。缶詰工場の位置する集落でも、この5年間で人口が半減しました。人が減れば生産のためのスタッフさんの確保すら難しく、雇用はほんの少数ですが、それでも人手不足に悩まされています。また、人口減少・高齢化による離農が進むことにより、地域全体で生産を支える罠

の維持も困難になってきます。まさに、地域の存続と弊社事業の存続は、一心同体であるといえます。

地域の存続のために弊社ができることは何か？と考えたとき、ありきたりですが雇用の場、そしてここで働く人が、自分たちの職に誇りを持ち、楽しいと思える場を提供することだと考えています。

単に地域のもものを外に売り、地域に収益をもたらす「収益拡大」だけではなく、「私たちの地域には他に誇れるものがある」という住む人・働く人が、自分の地域を愛せる事業を創り出してこそ(もちろんそこに収益は必須ですが)、人口減少を食い止める地域の存続が可能になると考えています。

まだ具体的にどのような事業展開をしていくべきか、というところまでここで話してできる熟度ではありませんが、引き続き弊社は地域と共に、あり続けたいと考えています。本稿を目にしたい皆さまは、温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆◆◆

島根県美郷町での私たちの取り組みは、株式会社おおち山くじらのホームページで詳しく紹介しています。

「おおち山くじら」では缶詰やジビエをお買い求めいただけます！
<https://yamakujira.jp/>



果たすべき姿を見たように思います。檜山の林の中で炭を作ったり、自然薯を育てたりして、雪の圧力で曲がって成長した杉材を使った和船の復活を目指したりと、ありとあらゆるアイデアを地元住民と話し、林業経営のもうけを増やす取り組みを進めておられました。夏目先生が生きていらつしやれば、間違いなくエゾシカの資源化に取り組まれたことと思います。

会社を設立した2010年は、折しも野生鳥獣による農林業被害額が急増、約240億とピークに

達した時期でした。恩師たちからの教えに使命感を持っていたわけでは決まていないのですが、森林資源であるシカ・イノシシを、農林業を営む上でやっかいなもの・コストから「もうけ」に変えてやろうと思いついたこと、また事業として始ようと決めた根幹には、こうした恩師との関わり、また現場での経験があったことは確かです。

◆野生鳥獣利活用事業のこれから

らすことを可能にしています。

缶詰製造にあたっては、東京のレストランシェフにレシピを考案していただき、できる限り添加物を使わず、かつそのまま食卓のディナーの一品としてだせるような缶詰であることをコンセプトとしました。缶詰工場は、美郷町の乙原保育所の跡地(20年ほど前に閉所し、町の遊休施設となっていた場所)を活用しています。

また、2021年には、株式会社北海道食美樂の運営にも参画をしました。北海道ではエゾシカ、島根県ではイノシシと扱う獣種は違いますが、複数の食肉処理場を運営することで、スタッフや技術交流を進めることが可能になりました。特にスタッフの勤務地を捕獲量に応じて柔軟に調整すること



食卓のディナーの一品をコンセプトに



遊休施設を利用した缶詰工場

で、野生鳥獣肉生産事業のもう一つの課題、生産量が安定しないこととの解決にも取り組んでいます。

③野生鳥獣利活用にかかるコンサルティング事業

そのほか、野生鳥獣による農林業被害に悩む中山間地域の自治体や企業、また食肉処理場の運営事業者から、様々な相談を受けることが多く、コンサルティング事業も行っています。具体的には、野生鳥獣肉の商品化や販売において、どのように事業採算性を確保するかといった経営的な相談から、駆除や捕獲、食肉処理場の建設などに関する現地でのアドバイス、狩猟を題材にしたグリーンツーリズムの実施に向けた相談など、ジビエや狩猟・野生動物と

いったキーワードで多様なコンサルティング活動を行っています。

最近、野生鳥獣やハンティングに興味がある都市住民が増えているというニュースを聞きましたか？一方、過疎化は、実は都市域に近い中山間地域でも発生しています。都心から1〜2時間圏内で、都市住民が週末ハンティングを楽しみたいというニーズを活かし、都市域の近くで過疎化が進む中山間地域とハンティングをテーマにマッチングすることで、都市住民も中山間地域にもメリットのある仕組みづくりをクライアントの企業と一緒に進めています。

◆林学とのかわり

これまでご紹介したように、クイジでは駆除対象となっている「野生鳥獣」を利活用するビジネスを展開しているわけですが、その根幹は私が大学時代に学んだ「林業経営」にあります。

私の学生時代、森林施業計画学(森林経理学)研究室には野生動物を研究対象とする学生も数多く在籍していました。これは、当時教授



冬で樹皮が剥がされたオヒョウニレの巨木(1998年)
提供:(一財)前田一步園財団

であつた和孝雄先生が「野生動物管理は林業経営の一環である」との考えのもと、学生たちを受け入れたことによるものだ記憶しています。実際に私の研究対象地である前田一步園財団(釧路市阿寒町)の森林でも、エゾシカによる樹皮食害で立ち枯れた多くの樹木を目の当たりにし、林業経営と野生動物管理が、切り離せないものであることを痛感したことが記憶に残っています。

そして当時、檜山演習林長であつた故夏目俊二先生から、「林業経営は、中山間地域の主力産業であるべきであり、また木材だけでなく森からの多様な恵みを資源化し、地域の「もうけ」に変える」といういわば研究者の立場を超えた姿勢に、林業経営が社会の中で

音楽で人の心をつなげていきたい

◆研究職から音楽へ

工学部合成化学工学科卒業後、電機メーカーで研究開発に従事。会社勤務の傍ら、音楽学校に通ってライブ活動を行う。オーディション合格、身辺変化、仕事の区切りが重なったタイミングで会社を離職し、2003年のインディーズCD全国デビューから音楽が仕事となる。音楽出版社との契約満了後、かねてから興味を持っていた中国北京へ2006年に渡る。語学留学と同時に、現地で4年間音楽活動をして日本帰国。現在は、東京を拠点に活動を行う。ここでは、主に2003年以降の音楽活動について、紹介させていただきたい。

◆『平和の願い』

2023年4月、東新宿でのデビュー20周年記念ライブ。ギターとピアノで14曲を弾き語る。冒頭に選んだ曲は、私の代表作『平和の願い』だ。今までの集大成という言葉は使わない。21年目へのスタートの気持ちで臨んだ。



スイスの国際会議に海外出張
(右列真ん中が本人、2000年)

インディーズCDでデビューした年は音楽出版社によるプロモーションで、半年ほど多忙な音楽活動の日々を送っていた。少し落ち着いた頃、たまたま知った戦争と平和に関する事実が衝撃を受け、『平和の願い』という曲を制作し発表した。この時は、自分で作ったこの曲が、音楽活動の道を照らすものになるとは思ってもなかった。

音楽出版社との契約が満了したのを機に、2006年から中国北京へ渡る。ここからの音楽活動は、全てセルフプロモーションだ。会社での経験や、音楽出版社との経験が大変役立った。中国語の語学留学で大学に通いながら、現地のライブハウスへ出演する生活が始まった。歌うのは全て自分のオリジナル曲。最初、中国で有名な曲のカバーも歌ったが、我々が聴きたいのは君のオリジナル曲だと言われて勇気をもらった。このライブハウスで歌う経験が、まさに人生の糧となった。

毎週水曜日が私に任されたレギュラー出演の日だった。弾き語り30分を2ステージ、お客様が多いときには3ステージ歌う。初級中国語から学び始めた私であったが、ライブハウスで出会う方々とのやりとりで中国語はぐんぐん上達した。

◆中国語版『平和の願い』

そんなある日のこと。噂では聞いていたが、とうとう私もステージの合間の休憩時間に中国人から質問がきた。「あなたは、戦争で日本が中国にしたことをどう思いますか？」中国で生活する日本人

◆中国語が学べる歌

私は、中国滞在時からずっと達成したいことがあった。それは、歌で中国語を覚える曲を作って、日本中に広めることである。言葉が通じれば、そこには心が生まれるはずだ。せっかくお隣の国なのだから、是非少しでもわかる言葉を増やして、ひとりひとりが国境を越えて向き合ったときに理解し合える土壌を広げたい。それを歌という身近な手段で実現したいのだ。

中国滞在時から歌の試作を始めたが、一筋縄にはいかなかった。試行錯誤しながら音楽と中国語を駆使して、2021年ついに『聴くだけで中国語を覚えらるる歌』歌えばそのまま中国語』10曲が完成。現在、ネットでダウンロード販売している。構想を思いついてから10年の月日が流れていた。嬉しいことに中国語学習誌『聴く中国語』が『歌えばそのまま中国語』を取り上げてくださり、同誌2021年8月号および学習誌公式ブログで紹介された。

◀bisqの活動はこちらから



ノーベル化学賞ジョン・ベネット・フェン博士(左)と
(来日ステージ後、2004年)

だ。全く言葉が通じない人と、懸命に意思疎通をはかった出来事は、この後にも先にもない。歌というのは、それを実現させてしまうのだと、私自身、歌の力に深く驚き、感動に襲われた。もしかしたら、『平和の願い』が本当に世界を平和にできるのではないかな。そう近づいて行けたら、本当に嬉しく幸せなことだ。私は、工学部そして会社で有機物の実験評価を重ね、そのより良い結果で世界を豊かにすることに従事してきた。そして今、音楽という場で、歌で世界の心を豊かにできる可能性に気づいた。どんな仕事をしても、誰もが世界に貢献できる。私もこの道を進んで良いのだと思えて、嬉しくなった。

◆さまざまな広がり

中国に滞在した約4年間で、現地でを行ったステージは全部で83回。日本に帰国し、その後は東京を拠点にした音楽活動を再開した。2008年に『平和の願い』の日本語歌詞と中国語歌詞のCDを発売したところ、中国語の発音



『平和の願い』レコーディングメンバーと(2006年)



デビュー20周年記念ライブ
シンガーソングライター bisq(ビスク)
小原 幸子
(H6・工)

にとつて、この質問は遅かれ早かれやってくる。戸惑った。今ここで答える内容を、この人はあとで他の中国人に「日本人がこう言っていた」と話すだろう。私一人の答えが、見ず知らずの中国人に「日本人が言っていた」と伝わってしまうのだ。つたない言葉ながらも、慎重に誠意をもって答えた記憶がある。国外に出て初めて、日本人という自分のアイデンティティーを感じた。そして、歴史を勉強し直した。知ろうと行動した結果、たくさんの方が見えてきた。

●2024年の墓参を終えて



新渡戸座像の前での集合写真



新渡戸稲造の墓



内村鑑三の墓



有島武郎の墓



廣井勇の墓

写真撮影：松浦永治氏

毎年、新渡戸稲造の命日にあたる10月16日付近の日曜日に北海道大学東京同窓会の主催で多磨霊園の墓参を開催しています。昨年の墓参の開催は10月13日で参加者は21名でした。

当日は午前10時30分に多磨霊園入口に程近い松乃家石材店に集合しました。この時点で18名が集まりました、これから行う事を説明しました。続いて、札幌より参加された石川満壽夫さんから最近の北大の様子について、また並木秀夫さんからは昨年公開されたドキュメン

クラーク遺徳顕彰・墓参委員会 浅田 清 (H1・歯)

多磨霊園墓参



タリー映画「新渡戸の夢」について、それぞれのお話がありました。いつものように先ず新渡戸稲造の座像に移動し、像や敷地の清掃を行い、集合写真を撮影して都ぞ弥生を歌いました。座像からお墓に移動する頃に遅れて到着した3名が合流。

最後の廣井勇のお墓も綺麗に整備されていましたが、周辺の雑草取りなどの清掃を行い、集合写真を撮影して都ぞ弥生を歌いました。4名の先輩方の墓参が終了し、私から挨拶させていただき散会となりました。

〈参加されたみなさま〉

杉山和彦 (S45・法)	並木秀夫 (S57・水産)
福地光男 (S45・水産)	佐藤文康 (S58・歯)
石川満壽夫 (S46・工)	横田秀一 (S60・歯)
古跡純一 (S47・理)	島田久 (S61・工)
村上幸夫 (S48・理)	萱野聡 (S62・法)
細井眞澄 (S49・工)	松浦永治 (H8・法)
石田恵 (S50・歯)	池田雄二 (H18・法)
朝倉仁樹 (S52・法)	杉山ふみ江
廣重晃以 (S55・法)	坂下節子
川添公貴 (S56・工)	浅田清 (H1・歯)
廣重勝彦 (S57・法)	

※敬称略・順不同

次に訪れた新渡戸稲造のお墓はすでに綺麗になっており、命日の花も飾ってありました。清掃を行い、集合写真を撮影しました。

その後に移動した内村鑑三のお墓は意外と汚れていて作業は大変でした。伸び放題になっていた墓内の木を剪定するなど時間をかけて整備し、集合写真を撮影し、都ぞ弥生を歌いました。

りました。

いつも参加されている平田更一さんと坂倉雅夫さんが急に参加できない事になり残念でしたが、この日は天気が良く、墓参を行うにはいい日和でした。参加された方々の北大に対する熱い思いを感じた一日となりました。



北京のライブハウスにレギュラー出演(2009年)

物の光特性を測定評価し、会社の研究開発では有機化合物の電気特性の測定評価に取り組んだ。合成化学工学を学んでいた私にとって、光特性や電気特性は異分野で、異分野との接点を調べていくことが新しい役立つ発見につながるのだと、当時わくわくしながら研究に没頭したものである。この「異分野との接点」といういわば二刀流のエッセンスが『歌えばそのまま中国語』に生きている。これは、歌と中国語という得意分野の2つをうまく使うことでできた作品なのだ。

中国語の歌は普通にあるじゃないかと感じる方もおられるだろう。補足すると、実は中国語の歌はメロディーが優先されて、中国語本来の声調(イントネーション)は無視されている。中国語は音の高低で意味が全く変わってしまうので、メロディーに乗って本来の声調(イントネーション)を失った言葉は、そのまま会話で使うと全く違う意味の言葉になってしまう。そのため、覚えた歌を会話で使うには、正しい声調(イントネーション)に直す作業が必要である。これが、従来からずっと歌で中国語を勉強する上でのデメリットとなっていた。しかし、私が考案した中国語を覚えられる歌は、このデメリットを一切なくした。歌は全て中国語本来の声調(イントネーション)を保持したメロディーになっているため、歌うように話せばそのまま通じる。文法などの基礎知識を飛び越え、誰もが簡単に歌で中国語を覚えて交流できるのだ。

例えば、『歌えばそのまま中国語』の制作は、非常に制約のある作業だった。中国語の声調を保持しながらの作曲は柔軟性が求められる、中国語歌詞の検討には中国語の語彙力と知識が必要とされた。つまり、音楽と中国語の両分野を熟知するレベルに自分を高める必要があったのである。まさに、二刀流の取り組みでやっと実現したのだった。

日建設「気候非常事態宣言」

- 私たちの働き方を革新し、日建設の企業活動に起因する温室効果ガス排出を2050年にゼロとします。
- 2050年の都市・建築デザインと働き方のカーボンニュートラルモデルを目標として提起し、2021～2050年で必要となる対策を年次計画として提示します。
- これからの地域のあり方を展望し、インフラと建築の機能を融合した柔軟なシステムによる身近なカーボンニュートラルを提案します。
- 企業の環境配慮を評価するスクリーニングシステムの構築を支援し、ESG不動産／都市基盤投資の促進に貢献します。
- クライアントと緊急行動の必要性を共有して課題解決を支援します。さらには社会に向けて発信して共感を呼びかけます。

取締役 久保田 克己 (工・昭59・建)

NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED

株式会社 日建設 北海道オフィス

札幌市中央区大通西8-2住友商事・フカミヤ大通ビル

Tel. 011-241-9537 Fax.011-261-7673

URL: <https://www.nikken.co.jp>

5年ぶりの東京同窓会OG会

2024年11月30日(土)にパ
パミラノ東京国際フォーラム店で北
大東京同窓会OG会を開催しまし
た。OG会は北大の“同窓”とい
う繋がりで集う会。出身・学部・
職業・年齢を問わず気軽に参加し
て下さいと声掛けして、様々な学
部からOG18人に参加していただ
きました。「北大が好き、札幌が好
き、北海道が好き」という方々の
集まりなので、すぐに和気藹藹と
会話が弾み、盛況な会となりました。
2019年8月に札幌で開催
された札幌・東京OG会を最後に
コロナ禍に入ってしまった、今回は5
年ぶりの開催でした。

幹事は大西裕子さん（1991年文修）と西野順子（1989年農修）でしたが、これまでの幹事の方や東京同窓会にバックアップしていただき、開催できたと思っております。なお、急用で参加できなかった（株）Healthbuidの槇本愛さん（1999年北大医短）より濁り酒「麴煙 Kikuen」の提供があり、おいしくいただきました。この場をかりて御礼申し上げます。

西野の挨拶で会が始まり、最初に大西幹事より改めて今回の開催についての経緯やこれまでのOG会



今回はじめて参加された
サーボウン明里さんの乾杯で!

小坂由紀(2007年理学部修)

3代目の幹事をしておりましたが、久しぶりにOG会に参加して、出席者の皆さんと時間を忘れて楽しくお話しすることができました。北大や北海道の良さ、卒業した後も繋がるのができる有難さを改めて感じ、また皆さんのお話から、今後の人生の過ごし方に関するヒントもたくさんいただきました。



自社の「麴煙Kikuen」を
提供された榎本愛さん

北大東京同窓会OG会が、「北大OGのネットワーク形成の場」として貢献できればと願っておりま
す。今後、OG会ではアンケート
を取って皆さんが参加しやすいよ
うに改善していきたいと思いま
すので、その際は是非ご協力をお願
いいたします。

[illegible]

「多感な青春時代を緑豊かなキャンパスで過ごしたという共通のルーツがある女性たちに、情報交換や親睦の場として北大の絆を活用していただく」ことを目標とし北大東京同窓会OG会は、斉藤紀美子さん（1969年経済学部）により2004年8月に発足しました。発足当時は同窓会に女性や若い世代の参加が少なく、斎藤さんは両者に同窓会の魅力を感じてもらうためにも、分科会的なレディスサークル、ヤングサークルの必要性を提案、まずは女性のための女性だけの会の開催を呼びかけました。

はの問題はいつの時代でも普遍性があり、毎回話が尽きることはありません。世代や環境が違っても、すぐに打ち解けられるのが同窓の強みです。

OG会に参加すると、いつの間にか皆が学生時代の自分に戻り、友と心を開いて笑い合い、元気をもらい、新しいアイデアや希望が湧く。そうした会でありましたし、また今後もそうした場であり続けたいと思います。今後も皆様のご支援ご協力をお願いできれば幸いです。

会の歩みについて紹介がありました。OG会が辿ってきた取り組みについては左ページのコラムをご覧ください。続いて2022年文学部卒の



サーボウン明里さんより、初々しい挨拶と乾杯の発声で懇親会が開宴し、しばらく食事と歓談をした後に、参加者の皆さんから2・3分程度の自己紹介していただきま

した。卒業後に他の大学で学生をしている人、子育てやご家族の介護をしながら働いている方、起業した方、退職後に第2の職場で仕事に就いている方、仕事を離れて悠々自適の方、退職目前の方、手術後退院してすぐに参加された方、ご主人に進められて参加された方等等、参加された方々の生き方は多種多様で、情報共有の場としていい懇親になったのではないかと思います。

それぞれのテーブルで盛り上がりつつあったが、会の最後には第1回目から参加されている田中紀子さん（1977年獣医学部院）より中締め挨拶をしていただき、参加者の集合写真を撮って散会しました。



18人の北大OGが参加

感想をいただきましたのでご紹介いたします。



組織・交流委員会
副委員長
西野 順子
(S64・農修)

サーボウン明里さん（2022年文学部修）

はじめてのOG会参加でしたので参加前はとても緊張しておりましたが、大先輩の皆さんに温かく迎えていただき、楽しい時間を過ごすことができました。参加者の年代も出身学部も歩まれてきたキャリアも人それぞれで、こういったキャリアもあるのだなと大変勉強になりました。今後も機会がありましたら、またぜひ参加させていたきたいと思います。

歴代幹事と開催内容

〔初代〕

齋藤紀美子 (1969 経済学部) ★ 2004 年に OG 会を立ち上げ! (旧レディスクラブ)

2004年10月	フリートーク「OG会は必要か？」
2005年2月	フリートーク「北大卒のメリット・デメリット、同窓会の賢い利用方法など」
2005年4月	六本木ヒルズでお花見ランチ
2005年6月	女性のための易しい資産運用セミナー
2005年11月	有料老人ホーム見学
2006年1月	誰もが語れる介護保険、誰もが語れない介護保険制度
2006年10月	結婚・離婚 女性のための法律相談
2007年2月	初めての管理職
2007年9月	家、いえ、イエ…女性から見た一生住める家「終の棲家」
2007年11月	住みたい家

〈2代〉

大西裕子 (1991 文学部修) / 中森薫 (1991 農学部修)

2008年8月	オープンしたばかりの赤坂サカスでポルトガル料理&フリートーク
2008年11月	神楽坂で京料理の隠れ家料亭 食事会&フリートーク
2009年5月	オペラ『戦争と平和』鑑賞（二軒茶屋・人見記念講堂）と食事会
2009年11月	ランチ会&フリートーク（表参道）

〈3代〉

西野順子 (1989 農学部修) / 小坂由紀 (2007 理学部修)

2010年11月	ホームパーティ形式で食事＆ワインパーティ
2011年5月	ランチ会＆テーマ「私の奮闘記」（スカイツリーの見えるレストラン）
2011年11月	テーマ「旅行」とランチ会（表参道）

〔4代〕

後藤さなえ (1988 農学部) / 関良子 (2011 法学部)

2012年6月	キャンドル作り体験&ランチパーティ
2012年10月	マイフェアレディの世界へようこそ（東京競馬場）
2013年11月	「特別企画：口笛コンサート&口笛教室&みんなの音楽会」

〔5代〕

篠原素子 (1987 理学部) / 野地実穂 (1995 工学部修) / 石井亜希子 (1996 年水産学部)

2015年6月 マイフェアレディの世界へようこそ（東京競馬場）
2015年11月 大人食事&飲み会（お肉ダイニング 銀座いちばち）

〔6代〕

今村美佳子 (1993 教育学部) / 武井さやか (2006 工学部修) / 中根里香 (1993 文学部)

2019年2月 「はとバスツアー」 山梨の「ハイジの村」「さがみ湖イルミリオン」



エルム談話室

活動報告

エルム談話室は毎月第1金曜日午後2時からサピアタワー10階の北大東京オフィスで行っています。同窓会のメールマガジンでもお知らせしていますので、お気軽にお越しください。(参加費500円)

平田更一(S44理・植)

【第846回】

演題…半導体の地政学〜日本は復活するか

日時…令和6年4月5日

講演者…太田康彦氏(S60・理)

略歴…1985年北大理学部卒業、日本経済新聞社に入社。マサチューセッツ工科大(MIT)に留学後、ワシントン、フランクフルト、シンガポールに駐在。通商、外交、科学技術、国際金融などをテーマに取材。一面コラム「春秋」の執筆を10年間にわたり担当した。2004年から21年まで編集委員兼論説委員。中国の「二帯一路」構想の報道

地政学(増補版)』が出版された。講演概要…今や半導体は石油と並ぶ国家の戦略物資で、世界最高の技術を握る台湾のTSMCや韓国のサムスン電子をめぐる、各国の誘致競争は高まるばかりです。80年代に栄華を極めた日本の半導体産業はグローバル化の潮流の中で衰退し、いまでは見る影もない。トランプ大統領の再登場で米中の覇権競争が高まり、世界の半導体産業はどこに向かうのか。日本は復活するのか。国際情勢、技術、経済の側面からその行方を読み解く。



太田康彦氏

※半導体技術の市場 太田氏が作成した表によると、2020年時点の半導体の主要技術のほとんどは米国が握っている。

半導体の主要技術のほとんどは米国が握る(分野別市場シェア)

	市場規模 (10億ドル)	米国	台湾	欧州	日本	中国	韓国
半導体チップ(最終製品)	473	51%	6%	10%	10%	6%	18%
統計ソフト	10	96%					
要素回路ライセンス	4	52%		43%		2%	
半導体製造装置	77	46%		22%	31%		
ファウンドリ	64	10%	71%			7%	9%
製造後工程	29	19%	54%			24%	
ウエハー	11		17%	13%	57%		12%

(5%未満は省略)(2020年時点の企業・業界の各種データより作成)

の「国家集積回路産業投資基金」や地方政府のファウンドを加えて10兆円以上を投資。
(3)欧州―2021年欧州委員会は、2030年に向けた産業戦略「デジタル・コンパス」を発表し、EU域内の半導体生産を10年間で倍増する目標を掲げた。
※世界のファブレスの頼みの綱 台湾TSMCは今最も地政学的に重要な企業。他社から受託して半導体を生産するファウンドリ市場で約60%を生産する。その強みは、世界の半導体企業とつながるネットワークと微細化の技術力。2022年に2ナノの新工場の建設を始めた。
※デジタル覇権の舞台・海底ケーブルの束

モノを運ぶのが船や飛行機なら、データを運ぶのは海底ケーブル。デジタル・シルクロードとは、究極的には海底ケーブルで世界各地と中国を結び、データを中国のプラットフォーマーに集める通信ネットワークである。グーグル、マイクロソフトなどGAFAMや中国のプラットフォーマーが、シンガポールにデータセンターを置いているのはこのためである。
※デジタル三国志が始まる(沿海から内陸へ)

各国のキープレイヤーの状況。アメリカ・シリコンバレーにグー

ル・アップル・フェイスブック・インテル、西海岸にアマゾン・マイクロソフトがそれぞれ本社を置く。中国…広東省、福建省、浙江省に企業が位置する。台湾…TSMCなどのファンドリ群の工場が新竹に集積している。韓国サムスン電子、SKハイニックス。日本…広島市にマイクロロン、四日市と北上市にキオクシアの工場がある。

【第847回】

演題…睡眠と健康経営

日時…令和6年6月7日

講演者…石田陽子氏(H11・医)

略歴…1999年慶應義塾大学医学部麻酔科学講座入局、周術期管理に従事。2011年株式会社心陽設立、企業の健康支援、産業保健管理に従事。

講演概要…

※キャリアのスタート

大学卒業後、麻酔科医として25年以上、のべ5000人以上の患者に麻酔を行い、またこの間、産業医として公衆衛生にも携わる。麻酔を扱う高度急性期医療と、従業員の健康管理やメンタルヘルスケアを担う産業保健は両極端の分野。この二刀流の専門家は少ない。

現在、産業医として週に1000人以上の働く人と対話することも

ある。2015年に心陽クリニックを開業し、睡眠診療を行っている。

※日本の睡眠の特徴

国ごとに平均睡眠時間に差があり、睡眠時間が地理や気候、国民性などの社会的因子の影響を大きく受けていることが認知されている。OECD全体の平均睡眠時間は8時間25分。国別で8時間未満なのは韓国と日本だけである。
(1)高齢者とこどもの睡眠 総務省の調査(2022年)によると、50歳以上60歳未満の睡眠時間は426分、15歳以上20歳未満の睡眠時間は452分。80歳の必要な睡眠は6時間程度なのに統計的には85歳以上が557分も眠っている一方、15歳以上20歳未満では452分しかないというのは、発達と成長が大切な子供には恐ろしいこと。

(2)女性の睡眠

OECD諸国で女性の睡眠時間が男性の睡眠時間より短いのは、日本、メキシコ、韓国、インドのみ。世界のほとんどの地域では、女性は男性より長く眠っている。総務省の調査(2022年)では、25歳〜40歳以外の子供の女性は男性よりも睡眠時間が短い。
(3)日本の睡眠政策



石田陽子氏

一方、アブセンティーズム(absenteeism)とは「仕事を休業／欠勤している状態」で、心身の不調により、遅刻や早退、就労が困難な欠勤や休職など、業務自体が行えない状態を指す。

2014年に「健康づくりのための睡眠指針」、2024年に「睡眠ガイド2023」がそれぞれ公表された。国家レベルでの睡眠の重要性の理解や啓発を目指して「国民の質の高い睡眠のための取り組みを促進する議員連盟」が発足し、日本睡眠協会が設立された。
(4)健康経営とプレゼンティーズム・アブセンティーズム 健康経営とは、従業員が健康になると企業の社会的価値が上がるという考えに従い、企業が従業員の健康という人的資本に投資することで、企業価値や業績などを向上させる経営戦略である。

健康経営領域では、「プレゼンティーズム(presenteeism)」とは、WHOによって提唱された、健康問題に起因するパフォーマンスの損失を表す指標で、欠勤には至っていないものの「健康問題が理由で生産性が低下している状態」を指す。

一方、アブセンティーズム(absenteeism)とは「仕事を休業／欠勤している状態」で、心身の不調により、遅刻や早退、就労が困難な欠勤や休職など、業務自体が行えない状態を指す。

プレゼンティーズムに関する日本の研究では、その原因として、首

の痛み・肩こり、睡眠不足、腰痛、眼精疲労、うつ、疲労感、不安感、頭痛、不眠症、風邪・インフルエンザ、更年期障害、高血圧、心臓病、アレルギーなどがある。

【第848回】

演題…「廃棄物とDX」の話をしよう!

日時…令和6年7月5日

講演者…石井美也紀氏(S56・薬)

略歴…1981年三共株式会社医薬品事業部入社、1985年富士通公共システム部などを経て2015年(株)エスエルネット設立(2021年ムスビメへ商号変更)

講演概要…

※事業紹介

天然資源を使ってモノを創る産業は、人体の血液循環になぞらえて「動脈産業」と呼ばれ、それらの使用後の、廃棄物として回収・処理し、再資源化する産業は「静脈産業」と呼ばれている。

ムスビメは、静脈産業におけるトレーサビリティの分野において「証拠を管理」ためのシステム開発に長年取り組んで来た会社。

※環境基本法

循環型社会を形成するための法整備

・循環型社会形成基本推進法―廃棄物の適正処理を定めた法律(主な内容) 再生資源利用のリサ



イクル／廃棄物の適正処理／廃棄物処理施設の適正規制／廃棄物処理業者に対する規制／廃棄物処理基準の設定



石井美也紀氏

等の高度化に関する法案。令和6年3月15日に「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案」を国会に提出。

法―再生利用の推進を定めた法律（主な内容）再生資源のリサイクル／リサイクル容易な構造・材質等の工夫／分別回収のための表示／副素材の有効利用の促進

・サーキュラーエコノミー【※】3原則（エレン・マッカーサー財団）
・廃棄物・汚染などを出さない
・有害物質の排出や大気汚染など、人や自然環境への負荷となる原因を明らかにし、製品から排除する。

・製品や資源を使い続ける
「使い続ける」とは設計によって製品や素材などの価値を高め、循環させ続けること。製品の再製造やリサイクルも含む。

・「自然のシステムを再生する」
自然によって作られる水や土壌、森林などの自然資本の保存・増加が目的。再生可能な資源を活用すると、枯渇が進む化石燃料などの非再生資源の使用も抑えられます。

【※】サーキュラーエコノミーとは資源を循環させることで環境負荷を低減する経済システム。
*再資源化事業等高度化法―資源循環のための再資源化事業

婚の男女に対する調査では、男性の81・4％、女性の84・3％は結婚したいと考えている。しかし、これらの内の男性の48・6％、女性の51・7％は、しなくともよいと回答している。誰でもよいわけではないし、結婚したいけど自分からは行動しない、という気持ちの現れである。

かつては、70％が見合い結婚であったが、2019年秋の調査では3％、現在は5／6％と言われている。未婚が少子化につながっている。

*プライダル社の提案
本人に適した相手との出会いが大切で、親が子の婚活を支援するに当たっては、不転の覚悟が必要。

(1)お子さんに進める際に本人が嫌がる言葉
「結婚」（この言葉に拒否反応）、「年齢」（もういい年でしょ）、「比較」（誰それさんは結婚したそうよ）、「今すぐにでも」（催促になる）などは使い方を注意する。

(2)お子さんへの切り出し方
「ちょっと話があるのだけど、最後まで聞いてね」「母さんもそろそろあなたの出会いを応援したいの」。こんな問いかけへの反応は「ほっといて」「自分で探すから」「無言・無視」が多い。

しかし「粘る」ことが大切で、

その際の声掛けは「貴方は貴方で今まで通りでいいのよ」「貴方は写真を見るだけよ」「嫌なら全部断つていいから」「最後まで聞いてね」など。そして「ありがとう」という言葉を添える。
また、「これだけお願いしてもダメかしら」と「引くことも大事。『待つ』ことも大切だが、本人の同意のうえで期限を切ることがコツ。ただし「いつまで待てばいいの?」は言わない。
※幹事の感想
講演を聞いて一番感銘を受けたのは、お話が明瞭で言葉がストレートに伝わってきたこと。自信をもって実践されていることが良く理解できました。参加者からは視点を変えたテーマのお話を聞きたいという声が出ていました。

【第850回】
演題…石炭を通して垣間見た産炭国の印象
日時…令和6年9月6日
講演者…遠藤一氏（S45・工）
略歴…1970年太平洋炭鉱入社、1998年（二財）石炭エネルギーセンター出向、2021年（二財）石炭フロンティア機構に改名。
講演概要…
*石炭の区分
石炭は用途に応じて次のように分類される。

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。

(1)若者に結婚の話を持ち出すと、多くの反応は…
①自分のことだからほっといて！（怒る）②自分で探すからいいよ（でもあてがあるわけはない）③親からは言われたくない（親の話し方に抵抗がある）

・無煙炭…粘結用、練炭
・原料炭…製鉄、コークス原料
・一般炭（燃料炭）…発電、セメント燃料
*石炭消費量（2022年見通し）
中国 45・1億トン（53・7％）
インド 11・7億トン（14・0％）
アメリカ 4・7億トン（5・6％）
ロシア 2・5億トン（3・0％）
インドネシア 2・0億トン（2・4％）
日本 1・8億トン（2・2％）
世界計 84・0億トン（100％）
*各国の石炭情勢と国柄
(1)ベトナム
ベトナムは高品質の無煙炭産出国。汚れた選炭（※）排水を海に垂れ流していたので、選炭機械の改善と排水処理方法を実施。ハノイは酔っぱらっても、歩いて帰ることが出来る治安の良い国である。

【※】選炭とは原炭から不純物を除き、用途に応じた商品炭にする工程
(2)インド共和国
日本の会社が開発した選炭技術の導入と選炭プラントの建設を行った。当時インドは環境問題がクローズアップされていたため、法律が突然変わり、完成までに6年程かかった。
(3)バングラデシュ
人民共和国
現在の主要エネルギーの天然ガス

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。

(1)若者に結婚の話を持ち出すと、多くの反応は…
①自分のことだからほっといて！（怒る）②自分で探すからいいよ（でもあてがあるわけはない）③親からは言われたくない（親の話し方に抵抗がある）

・無煙炭…粘結用、練炭
・原料炭…製鉄、コークス原料
・一般炭（燃料炭）…発電、セメント燃料
*石炭消費量（2022年見通し）
中国 45・1億トン（53・7％）
インド 11・7億トン（14・0％）
アメリカ 4・7億トン（5・6％）
ロシア 2・5億トン（3・0％）
インドネシア 2・0億トン（2・4％）
日本 1・8億トン（2・2％）
世界計 84・0億トン（100％）
*各国の石炭情勢と国柄
(1)ベトナム
ベトナムは高品質の無煙炭産出国。汚れた選炭（※）排水を海に垂れ流していたので、選炭機械の改善と排水処理方法を実施。ハノイは酔っぱらっても、歩いて帰ることが出来る治安の良い国である。

【※】選炭とは原炭から不純物を除き、用途に応じた商品炭にする工程
(2)インド共和国
日本の会社が開発した選炭技術の導入と選炭プラントの建設を行った。当時インドは環境問題がクローズアップされていたため、法律が突然変わり、完成までに6年程かかった。
(3)バングラデシュ
人民共和国
現在の主要エネルギーの天然ガス

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。

・生涯未婚率は1970年代では45歳から55歳で4／5であったのが、1990年を境に急上昇している。女性は約3人に一人、男性は約5人に一人が未婚である。
(3)ネット社会との関わり
リアルにコミュニケーションを交わす力の低下→面倒→煩わしい↓コミュニケーションしない↓能力の低下
*若者の結婚願望は？
国立社会保障・人口問題研究所が行った、18歳から34歳までの未



松田松枝氏

・リーマンショックにより内定の取り消しも多かった。
・年収500万円以下割合が56％となっている。

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。

(1)若者に結婚の話を持ち出すと、多くの反応は…
①自分のことだからほっといて！（怒る）②自分で探すからいいよ（でもあてがあるわけはない）③親からは言われたくない（親の話し方に抵抗がある）

・無煙炭…粘結用、練炭
・原料炭…製鉄、コークス原料
・一般炭（燃料炭）…発電、セメント燃料
*石炭消費量（2022年見通し）
中国 45・1億トン（53・7％）
インド 11・7億トン（14・0％）
アメリカ 4・7億トン（5・6％）
ロシア 2・5億トン（3・0％）
インドネシア 2・0億トン（2・4％）
日本 1・8億トン（2・2％）
世界計 84・0億トン（100％）
*各国の石炭情勢と国柄
(1)ベトナム
ベトナムは高品質の無煙炭産出国。汚れた選炭（※）排水を海に垂れ流していたので、選炭機械の改善と排水処理方法を実施。ハノイは酔っぱらっても、歩いて帰ることが出来る治安の良い国である。

【※】選炭とは原炭から不純物を除き、用途に応じた商品炭にする工程
(2)インド共和国
日本の会社が開発した選炭技術の導入と選炭プラントの建設を行った。当時インドは環境問題がクローズアップされていたため、法律が突然変わり、完成までに6年程かかった。
(3)バングラデシュ
人民共和国
現在の主要エネルギーの天然ガス

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。

(1)若者に結婚の話を持ち出すと、多くの反応は…
①自分のことだからほっといて！（怒る）②自分で探すからいいよ（でもあてがあるわけはない）③親からは言われたくない（親の話し方に抵抗がある）

・無煙炭…粘結用、練炭
・原料炭…製鉄、コークス原料
・一般炭（燃料炭）…発電、セメント燃料
*石炭消費量（2022年見通し）
中国 45・1億トン（53・7％）
インド 11・7億トン（14・0％）
アメリカ 4・7億トン（5・6％）
ロシア 2・5億トン（3・0％）
インドネシア 2・0億トン（2・4％）
日本 1・8億トン（2・2％）
世界計 84・0億トン（100％）
*各国の石炭情勢と国柄
(1)ベトナム
ベトナムは高品質の無煙炭産出国。汚れた選炭（※）排水を海に垂れ流していたので、選炭機械の改善と排水処理方法を実施。ハノイは酔っぱらっても、歩いて帰ることが出来る治安の良い国である。

【※】選炭とは原炭から不純物を除き、用途に応じた商品炭にする工程
(2)インド共和国
日本の会社が開発した選炭技術の導入と選炭プラントの建設を行った。当時インドは環境問題がクローズアップされていたため、法律が突然変わり、完成までに6年程かかった。
(3)バングラデシュ
人民共和国
現在の主要エネルギーの天然ガス

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。

(1)若者に結婚の話を持ち出すと、多くの反応は…
①自分のことだからほっといて！（怒る）②自分で探すからいいよ（でもあてがあるわけはない）③親からは言われたくない（親の話し方に抵抗がある）

・無煙炭…粘結用、練炭
・原料炭…製鉄、コークス原料
・一般炭（燃料炭）…発電、セメント燃料
*石炭消費量（2022年見通し）
中国 45・1億トン（53・7％）
インド 11・7億トン（14・0％）
アメリカ 4・7億トン（5・6％）
ロシア 2・5億トン（3・0％）
インドネシア 2・0億トン（2・4％）
日本 1・8億トン（2・2％）
世界計 84・0億トン（100％）
*各国の石炭情勢と国柄
(1)ベトナム
ベトナムは高品質の無煙炭産出国。汚れた選炭（※）排水を海に垂れ流していたので、選炭機械の改善と排水処理方法を実施。ハノイは酔っぱらっても、歩いて帰ることが出来る治安の良い国である。

【※】選炭とは原炭から不純物を除き、用途に応じた商品炭にする工程
(2)インド共和国
日本の会社が開発した選炭技術の導入と選炭プラントの建設を行った。当時インドは環境問題がクローズアップされていたため、法律が突然変わり、完成までに6年程かかった。
(3)バングラデシュ
人民共和国
現在の主要エネルギーの天然ガス

等には各種許可の手続きの特例を設ける。

【第849回】
演題…もはや自然に任せて結婚できる時代ではない！現代の結婚事情と婚活のススメ
日時…令和6年8月2日
講演者…松田松枝氏（株）プライダル東京本社
会社概要…1987年設立。社員数60名（2024年現在）。事業所…東京・名古屋・豊橋。大学等でのセミナー実績…東京大学校友会・大阪市立大学同窓会・関西学院大学同窓会・東京医師歯科医師協同組合ほか。
講演概要…
*最近の動向
岸田内閣は異次元の少子化対策に着手したが、若者たちの未婚化問題は本人だけの問題ではない。家族の問題と捉えていただき、今日の話を周りの方々に伝えてアドバイスしていただきたい。



遠藤一氏

は雲泥の差と考えるほどの発展。モンゴル人は狩猟民族なのでそのせいか計画性が欠如しており、われわれ農耕民族にとっては仕事で苦勞する。



北海道大学の目指すワイン教育研究

国内第3位である北海道のワイナリー数は2024年末現在で71軒を超え、100ワイナリーを超える日も近いが、一方でその多くは家族経営であり、栽培から醸造、流通、経営において数多くの課題を抱えている。この課題解決のために総合大学としての北海道大学がワイン教育研究に乗り出している。本稿では、北海道のワイン産業の歴史と現状、何故北海道大学がワイン教育研究に取り組むのかについて紹介したい。

◎ 北海道ワインの歴史と変遷

北海道のワイン造りの歴史が始まったのは、1876（明治9）年9月。北海道開拓使が開拓使葡萄酒醸造所を現在の札幌市中央区北2条東4丁目（サッポロファクトリー敷地内）に、開拓使麦酒醸造所（現在のサッポロビール）とともに建築したことに始まる。現在まで連綿と続くサッポロビールとは異なり、開拓使葡萄酒醸造所は民間に払い下げられた後、1913年には廃業してしまった。現在の北海道におけるワイン造り

につながる端緒は、1963年の池田町による、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所（十勝ワイン）の設立であり、次いで1972年の富良野市による富良野市ぶどう果樹研究所（ふらのワイン）が設立された。民間企業では、1973年のはこだてわいん、1974年の北海道ワイン、余市ワイナリーが設立され、この後2000年までは道内7ワイナリーの時代が続いたが、この時期には、現在に通じるヨーロッパ系ブドウ（*Vitis vinifera*）の寒さや積雪に対応した栽培方法の基礎が築かれた。

2000年以降になると、家族経営の小規模のワイナリーが多く設立されていく。この背景には地球温暖化の影響があることが示されている。また2010年に設立された10R（トアル）ワイナリーを始め、ワイナリー開設を目指す研修生の受け入れが行われたこともあり、2015年以降、北海道のワイナリーを取り巻く環境は大きく変わっていく。

北海道経済部による「ワイン塾」「北海道ワインアカデミー」は、すでに200名を超える修了

生を輩出し、数多くの新規ワイナリーの設立につながった。また、2018（平成30）年6月には、ワインとしては日本で2番目の地理的表示「GI北海道」が認められた。2022年に北海道庁や各研究機関、大学等からなるワイン産業支援組織「北海道ーワインプラットフォーム」が設立されている。



北海道大学大学院 農学研究院 教授
曾根 輝雄
（H9農・農芸化学・博）
北海道ワイン教育研究センターセンター長
北海道大学大学院国際食資源学院長

◎ 地域産業における北大の役割

このようにして現在、北海道は山梨、長野に次ぐ日本を代表するワイン産地となった。北海道大学では、このワイン産業を北海道の持続性を高める重要なキーと考えている。ワインは単なる農産加工品ではなく、農業、食品産業、観光業など強くつながり、地域に大きな経済効果や雇用創出をもた



ワイン熟成庫



北大果樹園でブドウを収穫

海道に与える経済効果（1114億円）の17倍以上である。現在北海道で新たにワイナリーを開設される多くの人が40歳以下であり、道外からの移住者である。またワイナリーを中心に食資源、観光資源をつなぎ、北海道の中にいくつもの「ナパヴァレー」の様なワイン産地が出来れば、北海道の課題は解消されるだろう。



ワイン熟成庫には北大ワインが並ぶ

附講座「北海道ワインのヌーヴェルヴァーグ研究室」、翌年には「北海道ワイン教育研究センター」が組織された。そこには、筆者の所属する農学研究

◎ ワイン教育研究の取り組みと環境整備

2023年9月には、北大の札幌キャンパスの最古の建物である「旧昆虫学及養蚕学教室」を改修した「北海道ワイン教育研究センター棟」が開所した。北海道大学のワイン教育研究、また北海道庁や各自治体、研究機関、生産者が協力しながら取り組む拠点として、北海道ワインアカデミーなどの講義やワインセミナー、分析実習が行われている。



ワイン教育研究センター



ワインテイasting・ラボ 試飲の様子

さらに2024年9月6日には、北海道ワイン教育研究センター内に、「北大ワインテイasting・ラボ」がオープンした。札幌駅に近い好立地の、歴史的建造物が醸すクラシックな空間の中で北海道産ワインが有料試飲出来るようになっていく。金土日曜の週4日営業、常時12種類以上の北海道産ワインを揃

え、ソムリエによる説明を受けながら、北海道のワインの味わいと知識を同時に得られるようになっていく。

このテイastingでは、顧客にアンケートを実施し、顧客の皆さまの嗜好とワインの化学成分や味わいとの関係解析する研究のデータを得る場としても活用している。

また旧昆虫学及養蚕学教室裏手には、旧昆虫標本庫を改修したワイン熟成庫があり、テイastingをしながらのセミナーも可能だ。このワイン教育研究センター全体で、北海道のワイン産業を支援するような取組を今後も進めていきたいと考えている。

教育研究組織の立ち上げから5年目、北海道大学のワイン教育研究はまだ始まったばかりだが、今後は研究成果を実際のワイン産業の現場や道内各地域に実装し、北海道にサステナブルテロワールを実現したいと考えている。



◀ ワイン教育研究センターはこちらから

北海道大学の研究成果を『商品』を通じて伝える 北大認定ブランド商品の取り組み

産学・地域協働推進機構 戦略企画部門

野田元春(産学協働コーディネーター)／七尾佳菜(学術研究員)

昨今、大学には「教育」「研究」に加えて「社会貢献」が強く求められています。産学・地域協働推進機構は本学の研究成果を社会に還元するお手伝いをする中で、ウェルビーイング、技術革新、社会課題解決など社会に貢献することを目的として活動をしています。

当機構で推進している北大認定ブランド商品の取り組みとは、企業様が本学の研究成果や農場生産物等を活用して作られた北大独自の商品に対して、「北大認定ブランド」としてお墨付きを与えることによって付加価値の高い商品を作って頂き、その売り上げの一部を大学に還元して頂く取り組みです。北海道のお土産としても人気の「札幌農学校クッキー」(株式会社きのとや様)も北大認定ブランド商品であり、本学に還元頂いた寄付金は現役の学生さんの奨学金や大学の環境整備のために活用されています。

北大認定ブランド商品は、約90%が北海道内の企業様との協業によって作られています。北大ガ



える絶好の機会となっています。

当機構では以下の北大ブランドポリシーを定め、「北大ブランドは先人からの預かり物」という意識の下、ポリシーに賛同頂ける企業様のみ北大認定ブランド商品を作っ

■赤ワイン「ケスク ジンパ？」

いつの時代も北大生のソウルフードとして広く親しまれているジンギスカン。そのジンギスカンにぴったり合う赤ワインが北大ブランドとして昨年9月に販売されました。商品名はフランス語の「OUEST-CE QUE JINPA?」。

ケスクジンパと読み、ジンパって、何? という意味です。

フランス・ボルドーで2019年に収穫した平均樹齢22年のメルロー種をメインに、カヴェルネ・

ソーヴィニヨンとカベルネ・フランをブレンドしたワインで、ワイン輸入販売会社代表の中村雅人さん(ソムリエ)と北大OBでワインエキスパートの馬場聡さんがブレンドを選定しました。

ワインの特徴や美味しさにについて、「ピーマンやキノコの香り。滑らかなタンニンはややドライな印象ですが、ジンギスカンの脂身と合わせることでタンニンが滑らかになり、丸みのある酸がバランスよく感じ取れます。余韻まで優美な味わいがジンギスカンと共

■北大ラズベリー®

香りと酸味が魅力のラズベリーを一度は口にしたいことがあると思いますが、実は99%が海外からの輸入品です。それは、高温多湿な



「ケスク ジンパ?」
ボルドールージュ2019
容量: 750ml
原産地: フランス (ボルドー)
AOC認定
色: 赤 価格: 3,300円 (税込)



■北大ラズベリー® 国産ラズベリーの普及を目指して!



〈生産者〉
砂川果樹園
余市町梅川町1194
よいち・土井体験農園
余市町梅川町1001
※そのほか7ヶ所の農園で栽培
〈北大ラズベリー購入〉
JALモールサイト



〈食べられるお店〉
焼き菓子と雑貨のお店
Kurumi no Ki
(クルミノキ)



Instagram Facebook

て頂くように心がけています。例えば、商品を作る過程では、商品内容やパッケージはもちろん、ホームページ、フライヤーの表現なども確認し、北大商品にふさわしい表記となっているかなど研究者にも確認を取りながら進めています。

〈北大ブランドのポリシー〉
北大ブランドは北大のかけがえのない資産である。

◇創基以来149年に亘る

先人の歴史により

蓄積された無形財産

◇国内・海外に対する北大の責任の象徴

◇学生・卒業生・教職員の誇り

北大認定ブランド商品を通じて、北海道大学を身近に感じて頂くきっかけになればと考えています。これから新しい商品も続々と登場致しますので、応援して頂けると幸いです。

日本の気候は栽培中に病気にかかりやすく、また、背丈が大きくなるので育てにくいという理由によるものです。

北方生物圏フィールド科学センター(FSC)の星野研究室(星野洋一郎教授)では、北海道に自生するキイチゴと海外産のラズベリーを掛け合わせることで、北海道で育てやすく、風味の良い新しいラズベリーを開発しました。

交配は、北海道に自生しているキイチゴ(クマイチゴ・エビガライチゴ・ウラジロエゾイチゴ・クロミキイチゴ)と、ラズベリーの栽培品種(果樹園等での栽培用に育種されたキイチゴ)14系統で行い、100系統以上を作り出しました。その中から4つの優良な系統を「北大ラズベリー®」として選んで、さまざまな活用を進めています。

FSCと農学研究院は2009年に余市町と連携協定を結び、農学技術の発展や地域発展に向けた交流を行っております。星野研究室で生み出された新しいラズベリーについては、余市町と生産者と北大が参加する「余市ベリー研究会」が発足したことをきっかけに、今では道内9つの生産者の畑で栽培され、商品化もされています。



北大漕艇部 18年ぶりに インカレでメダル獲得！



2024年インカレ 表彰式後の男子舵手付きフォアクルーと部員、OB OG

昨年9月4日～8日に埼玉県田市で行われたインカレで、ボート部が18年ぶりにメダルを獲得した。男子舵手付きフォアで準優勝。部員減少で一時期、存続も危ぶまれた部が戸田で復活した。

茨戸（ばらと）

北大漕艇部の練習拠点は、大学から北に10kmほどの茨戸。石狩川はかつて大きく蛇行し氾濫を繰り返す暴れ川でしたが、大正7年から昭和6年にかけて（1918～1931年）ショートカット工事がなされ、残された三日月湖が茨戸川湖です。本流から切り離された静水は、格好のボート環境になりました。茨戸は景色も素晴らしく、自然豊かな四季の風景や練習の様子を歌詞にした、部歌『春三月の』は部員、OB OGの心の故郷です。



早朝の茨戸

昭和29年全日本選手権エイトで優勝
秩父宮妃殿下から賜杯を受ける石塚主将

堀内コーチのオールの艇子比を調整する決断で、あれよあれよと決勝に進出。一橋大、早大にスタートで引き離されるも、その後一橋大を抜き、早大と競り合い2着でゴール。新聞は、エイト初陣で当時のビッグフォア、東大・一橋・早稲田・慶応に

部創生期

終戦の翌月、昭和20年9月、堀内寿郎教授（後の学長）を初代部長として8名の学生により漕艇部が創設されました。昭和26年から堀内教授がコーチとなり、翌27年、第7回国体（福島県）のナックルフォアで優勝。昭和28年には、埼玉県田市で行われた全日本選手権のエイトに出場します。慶応大の艇を借りての出場でした。強豪クルーの体格が大型化し始めていた当時、小柄な北大クルーには艇

北海道大学漕艇部 茨水会
理事長
川勝 幹人
(S51年入学)

肩を並べた北大に驚き、「北海の野武士が大ダンビラを引っ提げて暴れ込んだ」などと評しました。激しい練習に加えて、堀内コーチの軽量・短艇化への実験や、最適漕法の研究も功を奏し、翌29年の全日本選手権は、準決勝でケンブリッジ大に大差で勝ち、決勝では2位東大、3位早大を抑え堂々の優勝を勝ち取りました。賜杯は、初めて津軽の海を渡りました。

茨水会（しすいかい）

OB会は、全日本選手権で優勝してから5年ほど経った昭和34年に生まれ、昭和46年に会の正式名称が茨戸にちなんで茨水会となりました。登録会員は900名を超え、現会員は約800名です。昭和50年代から女子部員も入り、会員のうちOGは約200名。

北大漕艇部（全学）と水産学部漕艇部の活動を支援するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とし、年会費を集め、年間活動費の支援・練習環境整備の支援・情報発信活動などを行っています。

主な大会での戦績

昭和29年のエイト優勝以降、全日本選手権では、昭和35年に舵手付きペアで優勝し、昭和39年、53年はエイトで準優勝。全日本軽量級選手権のエイトで、昭和60年、

昭和61年、平成11年に準優勝をしています。

インカレでは、昭和56年男子ダブルスカル、平成3年男子シングルスカル、平成12年男子舵手なしペア、平成13年女子舵手なしペア、平成14年女子舵手付きフォア、平成18年男子舵手付きフォアで優勝をしました。

平成13年は、全日本選手権の女子舵手なしペアでも優勝し、その年、女子クルーが北大エルム賞を受賞しています。

残念ながら平成18年（2006年）以降、インカレや全日本クラスでの優勝やメダルから遠ざかっていました。

小樽商科大学・東北大学

小樽商科大は、昭和21年（1946年、当時は小樽経済専門学校）に創生期の北大を破り、北海道の代表となり第1回国民大会で優勝。昭和22年（1947年）から定期戦を行っています。現在の艇庫は共同艇庫であり一緒に使用しています。商大は艇庫の間でもあり、茨戸のライバルでもあります。

東北大との定期戦は、昭和32年（1957年）に始まりました。北大は東北帝大農科大学として札幌に開校した前身を持つ、いわば兄弟校。伝統校で大先輩でもある東北大学の胸を借りることになり

ました。昭和53年（1978年）に茨戸の定期戦で争った両校は、同年の全日本選手権のエイトの決勝で再び対戦し、両校が優勝、準優勝となりました。定期戦時と同じく北大は僅かに及ばず準優勝でした。女子の対校戦も昭和50年代から始まり、定期戦で東北大に勝つことも、部の男女の大目標です。

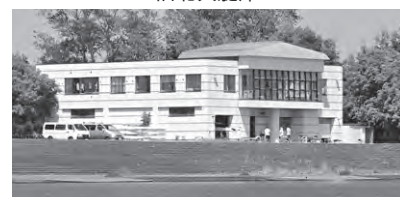
新艇庫も築35年

旧北大艇庫は昭和28年に建てられた木造平屋で、現在の艇庫の対岸にありました。老朽化により平成2年に完成したのが、現在の北大・小樽商大共同艇庫です。シャワーや快適な食堂も備わって生まれ変わった新艇庫でしたが、もはや築35年近くになり設備の旧態化、老朽化が進んでいます。

艇庫にはエアコンは無く、一昨年（2023年）の猛暑は、練習

1978年全日本エイト決勝
北大（手前）と東北大

旧北大艇庫



現在の北大・小樽商大共同艇庫

苦難の時代を経て

後や合宿中の夜に休息が取れず、部員にはかなり堪え、遠征時の戸田の公民館の方が快適だったと言われるほどでした。秋以降、部と茨水会で、エアコン設置に向けて調べをしたところ、予想をはるかに上回る金額、しかもニーズの高まりから、発注タイミングによっては工事が翌夏に間に合わない事がわかり、設置対策会議を急ぎました。茨水会で積立てていた資金と新たな募金、ボート部に寄付して頂いたフロンティア基金を活用することとし、共創事業として大学の支援が得られる事が春先に決まり、昨年の夏前に設置することが出来ました。

入賞（8位以内）は、平成18年以降も時々獲得しましたが、平成27年（2015年）以降は入賞か

からも遠ざかっていました。部員数が大幅に減少し存続も危ぶまれた時期に、江川厚志監督【※1】（昭和47年入学）を迎えました。「大志を抱いて漕ぎせよ！」のスローガンのもと、少しずつ部員も増え、自主、自律を発揮し成長しつつある中で今度はコロナ禍。大学からボートを始める部員がほとんどの北大は、乗艇練習が重要ですが、茨戸での練習・合宿が全く出来なくなり、長い期間、個人練習となりました。茨戸のローイングエルゴメーター（トレーニング器具）を部員宅に持ち込み、時には200mで合同練習の雰囲気づくりなどの工夫も。苦労や葛藤の中で継続した活動が、3年前（令和4年、2022年）に実を結び、久しぶりにインカレの男子舵手付きフォアで8位入賞しました。

昨年も大会会場は戸田の2000mコース。予選、準々決勝、準決勝と勝ち進んだクルーは、決勝で優勝候補の日大を抑え1800m付近でトップ。OBOG、応援団は大声援。しかし、日大の素晴らしいラストパートにかわされ2着。優勝を逃した悔しさはあつたでしょうが、力を出し切り表彰式で晴々しくメダルを受ける選手はOBOGにとつてとても誇らしく、一同で盛大な拍手を送りました。実に18年ぶりのインカレでのメダル獲得でした。



メダル受賞後の男子舵手付きフォアクルー



決勝レースゴール直後のクルー

整調:川崎千里(法4)、3番:安永匠(農4)、2番:小林知生(法2)、軸手:井上晟佑(工4)、舵手:納谷明里(文4)
舵手は性別が問われなくなり、他大学も女性舵手が多くなりました。

得でした。最近では、伴走車やドローンからの映像でレースのLIVE配信もあり、全国各地で視聴が出来ます。今年のインカレ最終日は、UNIVAS（大学スポーツ協会）で配

信され、解説は部OBOの杉藤洋志氏【※2】でした。大接戦のレースと中継で流れた「北大の復活」や、「クルーは1レース毎に力をつけ、素晴らしい大会を過ごしたと思います」との言葉は、OBOGにとつてもとても嬉しいものでした。

【※1】一昨年10月に勇退され、植村泰雄監督（昭和51年入学）に引き継がれました。現北海道ローイング協会会長。

【※2】昭和63年入学。平成3年インカレシングルスカル優勝。平成6年日本代表としてアジア大会ダブルスカル優勝。カナダでローイングのプロコーチ資格を取得後、北大でヘッドコーチ、その後日本代表コーチなどを歴任。

ボート競技は、参加基準タイムなどは有るものの、インカレや全日本など全国大会への出場の間口が比較的広く、部が一丸となつて、多くの大学や団体と競い、日本一を目指す事は大きな魅力です。しかしながら、遠征には、旅費、宿泊費、艇の運送費などの費用も大きく、艇やオールなどの道具や設備の更新にも相当額がかかります。一方で大学からの支援は厳しい状況です。そのような事から茨水会の役割は大きくなっています。

ボート競技は、参加基準タイムなどは有るものの、インカレや全日本など全国大会への出場の間口が比較的広く、部が一丸となつて、多くの大学や団体と競い、日本一を目指す事は大きな魅力です。しかしながら、遠征には、旅費、宿泊費、艇の運送費などの費用も大きく、艇やオールなどの道具や設備の更新にも相当額がかかります。一方で大学からの支援は厳しい状況です。そのような事から茨水会の役割は大きくなっています。

茨水会の課題と今後に向けて



大会が終わった後に応援団と一緒に

一層充実した部活動を送れるよう、資金面や環境面で部と部員をサポートし、部員は卒業したら茨水会員となつて後輩をサポートする。そのような循環が続く、部が目標に向かって更に成長、発展できるように、これからも応援、支援の活動に努めて参ります。

HOKUDAI TOKYO JINPA

北大東京ジンパ 2025

【日時】2025年5月18日(日)12時
【場所】昭和記念公園バーベキューガーデン(東京都立川市)

www.hokudai-jinpa.com

北海道大学東京同窓会 TEL.03-3211-9211 www.hokudai-tokyo.org

北海道名物 松尾ジンギスカン

東京エリア 5店舗展開中

店舗情報は こちらから

ジンギスカン鍋をみんなで囲もう

飲み放題付 3種食べくらべセット 5,000円
マトンジンギスカン食べ飲み放題 5,800円 (税込)

下記4店舗タッチパネル、無煙ロースター完備

新宿三丁目店 (74席) 東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド 会館5F TEL 03-3226-2989	赤坂店 (121席) 東京都港区赤坂4-3-6 ヒューリック 赤坂一ツ木通ビルB1 TEL 03-3585-2989	銀座店 (67席) 東京都中央区銀座5-9-5 チアーズ 銀座2F TEL 03-3572-2989	秋葉原店 (70席) 東京都千代田区外神田1-18-19 BITO AKIBA 5F TEL 03-3255-2989
--	--	--	---

ジンギスカン消費量 国内大学No.1

「北大」ご出身の皆様、懐かしの「松尾ジンギスカン」が東京でも楽しめます!!

ご利用可能店舗

新宿三丁目店	銀座店	赤坂店	秋葉原店	渋谷パルコ店
--------	-----	-----	------	--------

北海道大学様 限定クーポン

ご飲食代から **10% off**

※「北海道大学東京同窓会会員」様限定クーポンです。
※本券は左記5店舗でのみご利用可能です。※他券・割引券併用不可

回収印

渋谷パルコ店 (54席) キッチン調理済みの定食・丼などを提供

東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコ7F TEL 03-3461-2985



旧五街道をてくてく歩いて

土木技術者がみちについて考えてみた

定年近くになり、どんな趣味が
 好ましいかと考えました。健康や
 教養に良いこと、お金がかからな
 いことはもとより、より多くの時
 間を費やせることなどが決め手で
 す。そこで、旧五街道をてくてく歩

いてみよう、満58歳の時に日本
 橋から甲州に向かつて第一歩を踏み
 だしてから約10年後に完歩しまし
 た。もちろん、何回にも分けてで
 すが、旧街道上では全長歩き通し
 ました。旧五街道をすべて足すと
 2000kmを超えるそうです。



旧東海道・薩埵(さった) 峠からの富士山

	名称	ルート	距離(km)※1)		
			旧街道	現在ルート(参考)	
1	東海道	日本橋～京都三条大橋	513	456	高速道路
2	中山道	日本橋～草津宿	511	529	一般道
3	日光街道	日本橋～日光坊中	147	160	一般道
4	奥州街道	宇都宮宿～厩石(津軽半島)	707	651	高速道路
5	甲州街道	日本橋～下諏訪宿	209	200	高速道路
総 合 計			2,087	1,996	—

※1)いくつかの情報から得たもので参考程度としてください



旧東海道・笠寺一里塚

◆いろいろな歩く楽しさ

旧街道歩き醍醐味とは何か、
 3つ述べます。1つは、車や電車で
 は味わえない歩き目線で見えな
 ないものと出会えることです。宿場
 町の風情、一里塚跡、その他街道
 沿いの歴史的価値のある史跡など
 ふと足を止めてしまします。2つ目
 は、見知らぬ土地での空気を吸う
 ことです。普通の観光では訪れない
 場所に泊まるとか、畑仕事をして



北村 昌文
 (S52・工・土木)

いるおばあちゃんへの声掛けも楽し
 かったです。居酒屋では地の食材と
 地酒を嗜みながら、地元の人々と
 の語り(コロナ禍では自粛しまし
 たが)はまた格別です。3つ目は、
 仲間との出会いです。旧街道を歩い
 ていると同じような旅人に出会い、
 中には兵(つわもの)もいました。
 その1番は9日間で旧中山道踏破
 を目指しほとんど走っていた人です。
 その他の楽しみといえば、絶景と
 の出会いです。最も印象に残ってい
 るのは、富士山を眺めた旧東海道
 の薩埵(さった) 峠ではないでしょ
 うか。川を渡る時は昔「渡し」今
 はもちろん橋ですが、ここでも数々
 の絶景を目にしました。一方、苦勞
 したことと言えば、1番は峠越え
 でした。旧東海道の箱根越え、旧
 中山道の碓氷峠や和田峠、旧甲州
 道中の笹子峠越えなどは一筋縄では

◆歩き旅行のおすすめ

ぜひ、皆さんも健康のために歩
 いてみませんか。まずは、日帰りか
 ら1泊2日程度の旅をお勧めしま
 す。旧街道のルートは、般の地図に
 はあまり載っていないようですが、
 ネット情報にはいくつかあり自らの
 歩き体験を綴っているものもよく見
 かけます。また、地元の観光協会や
 市町村の観光課に問い合わせてみる
 のもよいでしょう。無料でお宝のパン
 フレットを郵送してくれるところも
 多くありました。1日に歩く距離は
 20〜30kmに設定し、30kmを超える
 と少ししんどくなります。皆さん、
 医者や薬にお金を使いよりも「靴」
 に使ってみませんか。病氣知らずの
 体になるかもしれません。



旧中山道・妻籠宿



旧東海道・関宿

道は生活に必要なものと同時に
 文化でもあると思います。踏破し
 た後、東海道上藤栗毛や奥の細
 道、司馬遼太郎の街道を行くなど
 身近に感じながら読みました。我
 が国には高速道路、国道から市町
 村道を含めて100万kmを超える
 道路がありますが、面白い道があ
 ることもいくつか紹介します。国道
 なのに距離200mにも満たない
 道、さらには車が通れない道もあ
 ります。そのひとつは階段国道、ほ
 かには海の道(海上航路)などの
 国道や県道が存在します。

最後に、北大の思い出を記しま
 す。受験の時に雪の中、正門から農
 学部まで歩きその広大さに感激し
 ましたが、入学後その北側に広大
 な学び舎が広がっていることを知り
 再度感激しました。エルムの学園で
 の四季折々の風景とともに北海道
 の人々の大らかさに触れ、学問とど
 もに多くのことを学んだ4年間でし
 た。東京下町育ちの乗り鉄の私は、
 帰省の時に東京札幌間の鉄道旅も
 楽しみの一つでした。できれば、また
 青函連絡船に乗って北の大地を訪れ
 たいと思っています今日この頃です。

【近年のOB会の開催地】

2024年：東京都 浅草「遠州屋」
 2023年：札幌市 札幌グランドホテル
 2022年：新型コロナの影響で延期
 2021年：新型コロナの影響を考慮して延期
 2020年：札幌開催が新型コロナで延期
 2019年：福島市・土湯温泉
 2018年：東京都 東京駅「日高」
 2017年：札幌市 京王プラザホテル札幌
 2016年：福島県いわき市 かんぱの宿いわき
 2015年：栃木県那須塩原 かんぱの宿塩原
 2014年：札幌市 京王プラザホテル札幌
 2013年：会津若松市 東山グランドホテル
 2012年：東京都 浅草「遠州屋」
 2011年：札幌市 京王プラザホテル札幌
 2010年：福島市 飯坂温泉「摺上亭大鳥」
 2009年：大宮市 大宮パレスホテル



2024年11月16日 浅草でのOB会

福島学寮は学生自らがお金を集めて寮を運営し、親がわりのような寮母さんを雇用し、それをOB会がまるでわが子のようにバックアップする体制が何十年も前から引き継がれている、まさに稀有な寮といえるでしょう。また福島学寮には

最後に

最後に、故・佐藤和男氏（S38 獣医）が札幌でのOB会の席上で詠まれた一句を紹介して、福島学寮ご紹介の締めくくりいたします。

「友集う北の寄宿舎秋深し」

このOB会は最初1970年に穂積忠氏（S42農学部）と白井健二氏（S43工学部）が横浜で会いました。それが現在では毎年、札幌・東京・福島で順に幹事をつとめ、OB会を開催しています。とくに福島県が担当の時は、

会津・福島市・いわきと3方が持ち回りで、また泊りがけで懇親会をやっています。もうすでに50年以上も継続していることになりました。

札幌でのOB会開催の時は寮生（学生）も参加し、上は92歳のOBから下は18歳の学生までと、なんとその年齢差74歳が一堂に会して、肩を組みながら「都ぞ弥生」を合唱することになります。

毎年このようなOB会を25名から30名ほどで行い、本年度は昨年11月16日に東京の浅草で開催され、OB会長が穂積忠氏（S42農学）から渡辺敏治氏（S48経済）に譲位されました。



〈福島学寮OB会HP〉 <https://obkai.xrosnet.com/>

寮誌Web会議



毎年発行の寮誌「朔風」

福島学寮ではOBからの寄付で寮誌「朔風」を毎年発行しています。記事内容はOBの昔話であったり、現寮生の紹介・学生生活の紹介であったり、寮での出来事などOBとの橋渡しになるような内容が豊富に組み込まれています。さらに月に一度、法人役員と寮生とのWeb上での会議を行っており、学生の困りごとや寮の運営などについての意見交換をしております。

うにな」とか揶揄されていて、散々だったそうです。

◆福島学寮・会津学寮OB会

福島学寮を語るとき、このOB会のことを抜きにはどうしても語れません。それぐらいOB会の役割は大きいものとなっており、福島学寮OB会にはホームページがあり、「福島学寮OB会」で検索すると見つけ出すことができます。

私は昭和52年に北大に入学し、住むところを探していた時にたまたま福島学寮という寮をみつけた。自分が福島県出身者でしかも実家が会津なので、生活費も安くて好都合と思い、入寮選考を経て福島学寮に入寮しました。

北大には現在でも全国的に有名な恵迪寮はじめ荘内寮、佐藤・新渡戸記念寮など多くの寮がありますが、私が住んでいた福島学寮はその中でも特にほかの寮には見られない、歴史・運営・OB会と現寮生との関係などがみられます。当時、桑園地区には仙台寮、米沢寮、秋田寮



2代目寮

【福島学寮の沿革】

1932年：会津若松市出身の木村勇先生（北大予科・英語教授）が、私財を投じて会津学寮を建てる
 [場所]中央区北八条西12丁目
 1969年頃：名称を福島学寮に改める
 1978年：12月に1代目寮が火災を起こす
 1980年：2代目寮が完成する
 [場所]1代目と同じ場所
 2011年：2代目寮が歳月とともに劣化が酷く、OB等の強力な援助により建物の全面改修を行う
 2012年：4月、財団法人福島学寮は、一般財団法人として新スタート
 2019年：12月に3代目寮の完成
 [場所]北区北26条西13丁目
 現在に至る

◆昔の会津学寮

年配の北大卒業生には福島学寮というよりは、会津寮と言ったほうが話が通りやすいのですが、会津寮時代の先輩方の話をお聞きしますと、北大における会津寮の昔の評価は、勉強しない・留年者が多い・だらしない学生が多い・「北大の吹き溜まり」・「あんなところに住んでいてお前かわいそ

このたび会報誌に福島学寮についてのご紹介をする機会を与えていただき、誠にありがとうございます。

◆福島学寮の運営

いただきます。

福島学寮は定員20名で、現在でも福島県出身者に限らず、他の県の出身者も受け入れています。さらに寮の運営は全て寮生（学生）が行っていて、毎月の寮費の徴収から



現在の3代目寮

もありません。現在でも福島県出身者に限らず、他の県の出身者も受け入れています。さらに寮の運営は全て寮生（学生）が行っていて、毎月の寮費の徴収から

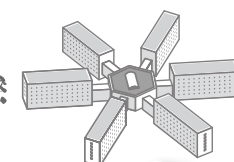


一般財団法人福島学寮 理事 佐藤 文康

(S58 歯学部)

脈々つながる福島学寮

（木下尊氏氏）、会計事務所の相談者として安藤行政事務所（西区琴似）と契約をしております。そして形の上では一般財団法人の形をとっており、白井健二（S43工学部）理事長を先頭に法人役員、OBが寮の学生を全面的に支える形をとっております。2代目寮の修理改築の時はその費用をOBに寄付金を募り、約400万円の浄財が寄せられ、寮の修理が完了しました。さらにコロナ禍の折には、寮生がバイトの仕事が減って生活に支障がでているというのを聞きつけて、OB会から学生に支援金が出されました。このように寮のOBが寮生を全面的にバックアップすると同時に、学生にも自治寮としての運営をまかせております。



今も作られ続ける『北大寮歌』



寮歌を懐しむ同窓生が毎年集う北大寮歌祭
昨年10月12日に開催された大田区産業プラザ コンベンションホールでの様子

平成23年恵迪寮入寮 小松遼貴（H29・文）

平成末頃に恵迪寮の寮歌普及委員会として活動した日々を思い返しつつ、最近の寮歌事情を紹介したい。

寮歌普及委員会は半年ごとに人員を再編しつつ、毎週日曜のスペシャル（炊き出し）といった寮生が集まりやすい時間で行う「寮歌指導」や、曲の背景を紹介した発行紙を各部屋に配る「寮歌珍報」などを通し、100曲以上ある寮歌を寮生に年中普及していく。春は新入寮生に寸劇を交え指導を重ね、秋は寮祭期間に合わせ新寮歌の募集・選定を行う。

新寮歌の応募作は例年5〜10曲ほど巨大な紙に歌詞を書き、共用部に掲示し候補作として普及活動が始める。寮生投票により決まるため公平を期そうと苦心し、普及頻度に差がないような日程調整や、傘連判状のように円型に切り抜く投票用紙作成を懐かしく思う。そうして集計の結果は正の字で壁に書きなぐりつつ寮祭中に発表、そこで初めてその年の寮歌を寮生皆で全力で歌うのだ。世代ごとで人気の寮歌の傾向は

あるが、何よりも各人の寮生活の思い出と結びついたものがそれぞれで好まれるように感じる。筆者は土幌小屋の運営委員会の頃によく歌った「草は萌え出で（S53・第70回記念寮歌）」が馴染み深く、当時は革新的な曲調として「快速エアポート（H24）」もよく歌われていた。

また、寮歌と寮史（世相）は不可分であり、寮歌には各年代における出来事や気運・想いが込められる。安保闘争期の時代の困難さが映る「茫洋の海（S35）」、初の女子入寮に触れる「六華窓窓に（H7）」など100曲以上ありながらも多様性に富んでいる。

筆者の卒寮から10年が経過し寮の文化も大小変遷しているだろう。それでも連綿と続く「寮歌」という幹に各世代の青春が紐づくことで、寮歌は今なお歌い継がれ世代に依らず皆で肩取り放歌できるのだと感じ、この文化が続いてほしいと強く思う。



◀恵迪寮寮歌集アプリはこちら！

「うす紅の」を作曲のころ

高田和重（S54年入寮）

「星影さやかに光れる北を人の世の清き国ぞとあこがれ」、「津軽の滄海の渦潮わけて」、札幌の地に足を踏み入れてから、今年（昭和五十七年）ではや四年目になりました。

この春までの三年間、自分は恵迪寮に住んでいましたが（この四月より桑園学寮に入寮）、この三年間の学生生活は恵迪寮を除いては考えられませんが、恵迪での三年間、本当に色々な出来事を体験してきました。その中でも特に思い出深いものの一つが、寮歌作曲の時のことです。

三年前、恵迪寮に入寮した頃、夜中に南寮階上の廊下で寮歌をよく歌いましたが、その数の多さは「都ぞ弥生」しか知らぬ自分には驚きでした。その年もおしせまつた頃、昭和五十四年度寮歌の募集が始まりました。夜中の廊下で寮歌を何度も歌うにつれて、自分も寮歌を作りたいと思うようになってきました。といっても、詞は小学校から中学校だかの国語の時間に書いたきりでしたから、寮歌のような高尚な詞はつくれそうもありません。しかし作曲のほうは、譜面は書けなくても力セットテープに吹き込んで提出すればよいと

知り、これなら自分にもできそうだと思い、候補作に曲をつけることにしました。南寮階上5、6号の応援団の部屋で締切の前日、徹夜で完成させ、テープに吹き込んだのを覚えています。

その後一週間位候補作を寮内放送で流し、投票が行われましたが、その結果を知ったのは「モツラ」においてでした。その晩、当時六十九代応援団幹部であった本山邦樹さん達と「モツラ」で酒を飲んでいましたが、午後九時をまわった頃、店に入ってきた寮生に、自分の曲が昭和五十四年度寮歌に選ばれたと聞かされました。

その時のうれしさは今でも覚えています（寮歌に選ばれたものの、自分では譜面がさっぱりわからないため、寮の先輩に採譜していただきました）。この「うす紅の」を歌詞した鶴原さんは寮の一年先輩で、根っからの恵迪寮生といった感じの人でした。自分は寮歌決定の日の夜中、「モツラ」から寮に帰ると、鶴原さんの部屋に行き、寝ている先輩を起こしたとききます（このあたりから強く酔っていたため記憶が途切れる）。何はともあれ、当時の自分には寮歌作曲者になったというのは、北大入学以来の大事件でした。

（「恵迪の青春」より転載）

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原 文孝君 作歌
高田 和重君 作曲

- うす紅の秋ゆうぐれに
滅びの風は吹き荒ぶ
斜陽かげ射す日に移ろいて
傾く姿痛ましく
吾が胸に満つ過にし日の映え
懐いは恵迪と共に
- うす紫の冬あけどきに
透みわたる風底凍る
もの音絶えて冷たく寒く
暗くも映る空しさに
倒れゆくもの今この時に
想いは恵迪と共に
- うす靄けぶる春あけぼのに
昔日の影たゆたい惑う
されど緑はまだ若くして
咲き初む花の望もて
新しき日のかげろい浮かぶ
憧れ恵迪と共に
- うす花いろの夏よい闇に
たまゆら風はさわやけし
我が宴にも星降る幸と
歌う寮友らの嬉しさに
憩える帆にも希いありたし
夢こそ恵迪と共に
- うつろう四季に感慨をこめて
朽ちゆくものを見つめつつ
いまだ乾かぬ血涙をもて
ただひたすらに祈り捧ぐ
唯一真実の道を残さむ
想いは恵迪を永遠に
希いは恵迪よ永遠に

旅行中は各国の大使館とJICA事務所を訪問し、毎回色々な話を聞かせてもらっている。アフリ

◎死が近いから

「こんなことは滅多にないんだ。どうかこの国や文化を嫌いにならないでほしい」と彼が話したが、日本の闇バイトくらいに滅多にない事件だったらしい。もちろん現地での程度のことだ。ニュースで取り上げられることはないが、もしジンバブエに行く人がいれば彼を紹介したいし、僕もまた会いに行きたい。



14歳で初めて学校に来たスラムの子どもたち。一生懸命覚えた日本語を叫んでいるところ。

アフリカ人は毎朝挨拶が長い。まずしっかり握手とハグをして、その後家族の安否を一通り聞かされる。親戚のおじさんについてまで。ある日出勤すると、



何人乗っても壊れない日本車はアフリカで大活躍



YouTube



Instagram

今日はここで筆を置きますが僕の旅はまだ続きます。旅の様子はFacebookとYouTube、Instagramで発信しています。ぜひのぞいてみてください！

さてもう一人の砂崎さんは南米を希望してJICAに入社した。しかし全く希望を聞いてくれない上司にアフリカ配属にされてしまう。渋々やってきたアフリカだが、気づけば大好きになってしまったそう。今では日本に2年もいると息苦しくなってくるらしい。どうしてそんなにアフリカが好きなのか尋ねてみると「死が近いから」だと言った。

アフリカ人は毎朝挨拶が長い。まずしっかり握手とハグをして、その後家族の安否を一通り聞かされる。親戚のおじさんについてまで。ある日出勤すると、

「などというのでカフェに連れて行った。それが3日ほど続いた。どうやらパスポートもカードも盗まれておらず、ステファンのリュックの中はサングラスと日本旅行のお土産だけだったそうだ。怪我を負いながら、ろくに眠らず捜索を続け、翌日も警察から買い物まで文句も言わず、落ち込むステファンに寄り添っていたエンゲルバートには感動した。



包帯すらもお洒落に見える事件後のエンゲルバート

力最初の国、エチオピア事務所でも2人の職員に時間をいただくことができた。ひとりは元々海外協力隊をしていた青木さん。最初の任地モロッコでは体育の先生をしており、現在はエチオピアで協力隊のサポートをしている。人を助けたいという思いを持ってアフリカの地を踏んだ彼は、協力隊の任務を終えて帰国した後は千代田区で消防士をしていたそうだ。

「月曜の朝が一番忙しいです」。東京駅で過労で倒れてしまう人、自殺をする人、そんな人たちの対応に当たっていたという。アフリカでは生きたいのに生きていけない人がたくさんいるのに。皮肉な対比だと思っていたそう。

アフリカの人たちはいつも笑顔だ。目が合うとニコッと返してくれるし、それだけではなく大きな声で話しかけてくる。さらには



水産学部3年 高澤共生

アフリカ一周 開拓使ともおの Be Funbitious!



タンザニアのザンジバル島へジャガイモ袋に隠れて密航した日の朝。船長の勤と風まかせの船旅。

北海道大学水産学部資源機能化学科5年目3年、高澤共生（たかさわともお）です。現在、大学を1年休学し、寮生の後輩とアフリカを一周しながら現地で働く日本人を訪ねる旅、いわば北大から開拓使としてアフリカに飛び込む毎日が続けています！

2024年6月5日に日本を発つてチオピアからスタートした旅は、2025年1月21日現在、20か国目の西アフリカはガーナに辿り着きました。旅で体験したことが感じたことをお話させていただきます。

◎リュック強奪事件

アフリカ11か国目ジンバブエのこと。世界三大瀑布ビクトリアの滝から入国した時に、日本大好きイタリア人のステファンに出会った。そこからのルート（ビクトリアフォールズ→ブラワヨ→ハラレ）が同じだったので、一緒に行動するこ



未曾有の干ばつで滝は枯れていたそうですがそれでも大迫力

その様子を横目に、僕らはみんなが大好きなボブ・マリーを聴き、大麻でちるる（僕は吸ってない）していたその時だった。突然闇の中からステファンのリュックがひょいと取り上げられ、そのまま持つて行かれてしまったのだ。「あれ、あんな家族いたっけ？」そう思

うのも束の間、エンゲルバートと彼の息子が全速力で犯人を走って追いかけていた。犯行後にエンゲルバートの家に車が付けられ、犯人はそれに飛び乗っているの計画的犯行だったのだ。その車に2人が必死でしがみついても、車内からナイフで刺され振り落とされてしまった。息子はそれでも1kmはしがみついていた。エンゲルバートはとっさに自分のクルマのエンジンをかけ「行くぞ、飛び乗れ！」と叫ぶ。飛び乗りながら「ステファン行こう！」と声をかけると彼は呆然と立ち尽くしていた。

クルマに乗らないステファンをそのままにして走り出す瞬間、「It's my everything!」と叫ぶ彼の声があった。すれ違う人すべてに声をかけて目星をつけて、最も危ないスラム地域を捜索に行く。酔っ払い、ジャンキー、喧嘩の騒ぎばかりで犯人はいなかった。結局リュックは見つからず、警察に行き盗難届を出した。

僕には全く被害はなく、人生勉強になっただけで済んだが、ステファンは大麻の影響でひどく落ち込んでパニックになっていた。翌日も陽気な性格から打って変わって情緒不安定になり、朝起きると「僕のコーヒーはどこだ？ コーヒーがないと生きていけない

そんな同僚が死んでしまったという知らせを受けた。昨日まであんなに長い挨拶をしていたのに。そういう時、一番に思い出すのは挨拶した手の記憶。温かさや感触、彼の存在が消えなかった。長い挨拶の本当の意味が分かった気がしたという。アフリカ諸国を転々としてきた砂崎さんは、セネガルにいた時、出張先の隣国でエボラ出血熱による死体の山を見ることがあったそうだ。死の近さゆえの人の繋がりが、明日がないかもしれないからこそ今を全力で生きているアフリカ人たちの生き方を感じ、それが好きな理由なんだと語ってくれた。

2025年(令和7年) 寒中お見舞い 申し上げます。

北大東京同窓会 役員一同・事務局

会長 横田 浩 (経・60)
事務局 廣重 晃以 (法・55)

北海道大学東京同窓会

会長
横田 浩

(経・60)

JFEホールディングス株式会社
名誉顧問

数土 文夫

(工・39・冶金)

石山 喬

(工・42・冶金)

北海道大学校友会エールム会長
(公財)産業教育振興中央会理事長
杉江 和男

(工・45・応化・修)

北海道大学工学部同窓会
東京支部
支部長

井上 修平

(工・50・資源開発)

松谷 寛

(工・52・電子)

有限会社ケースオフィス
代表取締役

川添 公貴

(工・56・応化)

北海道大学工学部
化学系東京同窓会(北鐘)
会長

近藤 伸一

(工・58・応化・修)

味の素株式会社
特別顧問

富士 博司

(工・59・合化・修)

株式会社IHI
資源エネルギー・環境事業領域
技監

岩崎 哲也

(工・59・機)

ワイエムエス株式会社
代表取締役

島田 久

(工・61・金属)

尾瀬沼畔長蔵小屋
尾瀬ヶ原第二長蔵小屋

平野 太郎

(工・H3・衛生)

十条ケミカル株式会社
代表取締役

小山 裕

(工・H4・金属)

ミルクデザイン株式会社
代表取締役

山田 尚大

(工・H23・応物・修)

北海道大学歯学部同窓会
関東支部
支部長

横田 秀一

(歯・60)

森 和弘

(歯・H1)

一般財団法人EAMS 代表理事
ダクタリ動物病院 総合院長
コロド下州立医科大学客員教授 日本獣畜大使団副団長
千葉科学大学客員教授
ダクタリ動物病院 東京医療センター
東京都港区白金台5-14-12F TEL:03-5440-0012
ダクタリ動物病院 代々木
東京都渋谷区南ヶ谷1-3-022 TEL:03-5452-9000
ダクタリ動物病院 久我山
東京都杉並区久我山3-1-1 TEL:03-3443-5566



加藤 元

(獣・31)

北海道大学獣医学部同窓会
副会長・関東支部長

境 政人

(獣・53)

三菱商事株式会社
ヘルスクア部シニアマネジャー

小西 竜太

(医・H14)

Earthrise Nutritionals LLC
(a Member of the DIC Group)
President and CEO

大野 隆明

(水・H6・食・修)

日本私学振興・共済事業団評価委員
公益財団法人交通協力会
常務理事

石堂 正信

(法・44)

杉山 和彦

(法・45)

北水同窓会 東京支部一同

支部長 樋口 達夫 (水・50・食品・修)
副支部長 舟木 謙二 (水・59・食品)
副支部長 松本 偉 (水・H5・漁業)
幹事長 釜谷 明 (水・H3・食品)

北大スキー部OB会 東京支部

事務局長 中村 秀治 (工・58／環科・60・修)
理事 高橋 寛 (農・62・農工)
幹事 依田 智子 (工・H4・合化・修)

東京フラテ会

会長 畠山 昌則 (医・50)

北大法学部

東京同窓会 役員一同

会長 小口 正範 (法・53)

北大経済学部

東京同窓会 役員一同

会長 永松 昌一 (経・57)

事務局長 菅埜 誠 (経・52)

公益社団法人北海道倶楽部

副理事長

DG株式会社

代表取締役

本間 修

(法・45)

日本原子力研究開発機構

理事長

小口 正範

(法・53)

JFEフリスソース株式会社

代表取締役社長

堀江 亮介

(法・61)

株式会社サクセスボード

代表取締役社長

萱野 聡

(法・62)

北海道大学法学部同窓会

会長

藤田 美津夫

(法・51)

北海道大学法学部同窓会

常任幹事兼事務局長

猪飼 秀一

(法・52)

株式会社ぶらう

代表取締役

石川 裕一

(法・54)

株式会社町村農場

代表取締役

町村 均

(法・60)

三井化学株式会社

代表取締役社長

橋本 修

(法・62)

北海道大学大学院法学研究科

研究科長・法学部長

佐々木 雅寿

(法・61)

株式会社トクヤマ

代表取締役社長執行役員

横田 浩

(経・60)

千秋庵製菓株式会社

代表取締役社長

中西 克彦

(経・H22 経営)

(社)札幌農学同窓会監事

松沢 幸一

(農・46・農化／48・修)

(社)札幌農学同窓会理事

アドバイザー

櫻田 巧

(農・58・農経)

三晃堂三井印店

代表

三井 晃一

(農・H1・農学)

一般社団法人 札幌農学同窓会

東京支部 役員一同

理事長 櫻田 巧 (農・58・農経)

副理事長 別所 智博 (農・56・農化)

副理事長 高木 忍 (農・58・農化)

財界さっぽろ

編集部 記者

野口 晋一

(文・H8)

株式会社デイリーテクノ

代表取締役社長・農学博士

富田 守

(農・36・畜産)

中外製薬株式会社 特別顧問

(社)日本経済団体連合会 審議員会副議長

三菱電機株式会社 社外取締役

株式会社小松製作所 社外監査役

(農・51・農化)

一般社団法人緑の循環認証会議

専務理事

梶谷 辰哉

(農・50・林学)

ビジネスサイエンス
&テクノロジー株式会社

代表取締役

小野 桂子

(農・62・農化)

Crowe GTA Myanmar Co., Ltd.

Managing Partner

瀬戸山 洋介

(農・H12・農工)

新入会員

(令和6年7月)、敬称略)

鈴木雄太(農)、岩波浩太(農・農経H13)、西川菜穂子(教育・教育H16)、中村幸太郎(工・機械R3)、増井昇(農・森林科学H29)、増井琴羽(農・森林科学H31)、横山卓矢(工・機械知能H27)、森俊介(薬・薬院H7)、山田正克(水産・漁業H4)、竹田遥香(法R2)、石川直敬(工・合化S39)、北井正之(工・機械S60)、内田佳希(工・応用理H25)

訃報

令和6年7月以降にご逝去の
お知らせをいただいた方々。
敬称略

鈴木暉男(医S38)、北谷知己(教養・医課S33)、中澤邦春(農・経S31)、森川真好(法・S58)、城田昌良(経・経済S37)、伊藤敦之(医S42)、関口光雄(工・土S43)、西野伊史(農化S44)

北海道大学の近況

(2024年 夏・秋)

北海道大学社会共創部広報課

北海道大学とRapidus株式会社が包括連携協定を締結



締結の様子。左から資金清博総長、Rapidusの小池淳義代表取締役社長

本学とRapidus株式会社は、半導体産業を通じた我が国の科学技術力の向上及び人材の育成に資することを目的として、6月5日（水）に包括連携協定を締結しました。

北海道における半導体産業の振興に向けた動きが急速に進んでいる中、現在課題とされている人材育成や研究開発の面においてRapidusが計画している2025年4月からのパイロットライン稼働開始や2027年の量産開始後を見据え、長期的な高度人材の育成や先端半導体研究等の協力を進めることを目的とし、この度包括連携協定を締結することとなりました。

当面は、本学によるRapidus株式会社の半導体拠点整備への協

力や、半導体人材育成・先端半導体研究において連携を図る予定です。具体的な取り組みの例として、2024年中を目処に、Rapidusが2ナノ半導体の評価・分析を行う拠点を本学キャンパス内に設置します。また、Rapidusに関連する先端半導体の研究開発事業の促進や、本学の研究の特色を活かした先端半導体研究を推進していきます。

半導体人材育成に関しては、Rapidusエンジニアの本学への実務家教員派遣による講義や、本学の最新研究成果をRapidusエンジニアが学ぶ機会の提供などを行っていく予定です。

(総務企画部企画課)

国立陽明交通大学との連携体制を強化

6月25日（火）、資金清博総長と国立陽明交通大学（台湾）のチーホン・リン学長との間で、今後、半導体ナノテクノロジー分野を中心に、緊密な研究協力体制を確立していく旨の合意文書が交わされました。



連携強化の合意書への署名
(左からリン学長、資金総長)



調印後の集合写真

国立陽明交通大学は、高齢者長期療養、腫瘍学、脳科学、医学工学の分野で強固な研究基盤を有する他、先端半導体を中心とする電子、情報通信、経営、工学分野での研究をリードし、半導体産業を中心に台湾で多くの産学連携実績を生み出しています。

本学と国立陽明交通大学は、2013年に大学間で学術交流協定を締結し、研究交流・学生交流を進めてきました。この間の研究者間の交流状況を踏まえ、この度、リン学長をはじめとする執行部が本学を訪問することとなり、半導体分野における共同研究や人材育成を中心に連携体制を強化していくことに合意しました。

当面は、研究者・学生交流等を継続して進めていくとともに、半導体ナノテクノロジーを中心に、とて緊密な研究協力体制を確立するための共同研究グループを編成し、両大学の半導体分野における共同研究を推進していく予定です。

さらに、両大学ではナノバイオや医療ヘルスケアに関する研究も

盛んであり、AIなどの高度情報処理や先端半導体との融合研究を見据えた連携も検討していくこととしています。そのような連携の一環として、今回、国立陽明交通大学の先生方を迎えて、半導体ナノテクノロジーとバイオ医療科学に関する国際ワークショップも併せて開催しました。

(総務企画部企画課)

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）キックオフシンポジウムを開催

7月25日（木）に本学が主催、文部科学省、日本学術振興会（JPS）の後援で、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」において採択された「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」に係るキックオフシンポジウムをクラーク会館で開催しました。ハイブリッド形式で開催した本シンポジウムには約570名（うち、オンライン約350名）の参加がありました。

はじめに資金清博総長による開会の挨拶があり、続く来賓挨拶では、鈴木直道北海道知事（北海道総合政策部の大矢邦博次世代社会戦略監が代読）、北海道経済連合会会長・北海道電力株式会社代表取

締役会長の藤井裕氏、総合科学技術・イノベーション会議の上山隆大議員、文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課の池田一郎課長から本事業における本学への期待を賜りました。

次に、瀬戸口剛理事・副学長から本事業の取組概要の説明を行った後、本学の4名の教員からリジェネラティブ（環境再生型）な、低投入・高収量・低排出の農業・畜産業や、安定・高収益・低排出の水産業を目指すための、農学、水産学、畜産学、生態学の各分野の研究を紹介しました。

シンポジウム後半のパネルディスカッションでは、西邑隆徳副学長の進行のもと、一次産業に関わる民間企業、大学発ベンチャー、地方自治体、研究者など、産学官

のステークホルダー6名が一堂に会し、「ありたい未来の食料生産システムの実現に向けて」をテーマに、各パネリストがそれぞれの立場や事例に基づいて意見を述べ、現在の一次産業の現状からリジェネラティブな食料生産をどのように考えるか、ムーブメントを起こしてゆくにはどうしたらよいかなど、熱い議論が交わされました。また、会場でパネリストの発言を同時進行で絵や図形に描くリアルタイムグラフィックレコー



資金総長による開会の挨拶



シンポジウム会場の様子



パネルディスカッションの様子

ノーベル賞メダル公式レプリカ寄贈セレモニーを開催

令和3年にノーベル化学賞を受賞した創成研究機構化学反応創成研究拠点（以下、ICRedD）のベンジャミン・リスト特任教授から、ノーベル賞メダルの公式レプリカが寄贈され、8月28日（水）に総合博物館にて、ノーベル賞メダル公式レプリカ寄贈セレモニーが開催されました。

ノーベル賞メダルの公式レプリカは、受賞者がノーベル財団から3個を上限に作成を許可される貴重なもので、そのうちの1つが本学に寄贈されました。

ICRedDの主任研究者であるリスト特任教授は、ICRedDが設置された平成30年当初より主任研究者として参画し、ICRedDにおい

本学は、SDGs達成の推進に当たっては、学生や教職員等、構成員一人ひとりが意識を持ち、取り組んでいくことが重要と考え、令和6年8月1日付けで「北

「北海道大学サステイナビリティ宣言」を策定

(サステイナビリティ推進機構、統合URA本部)



橋を持つ横田 篤理事・副学長を中心に記念撮影をする関係者

キング及びSDG別ランキングが発表されました。本ランキングは、各大学のSDGsに対する取組等をもとに、国連のSDGsの枠組みを使って大学の「社会貢献度」をランク付けするもので、今年で6回目となります。

本ランキングには125の国と地域から2152の高等教育機関(国内からは88大学)が参加しました。本学は、総合ランキングで対象となった世界1963大学中72位となり、5年連続で国内1位を獲得しました。

SDG別ランキングにおいては、17のSDG目標のうち、「SDG2 飢餓をゼロに」(世界89位)、「SDG9 産業と技術革新の基盤をつくろう」(同49位)、「SDG14 海の豊かさを守ろう」(同57位)、「SDG15 陸の豊かさを守ろう」(同51位)、「SDG17 パートナリシップで目標を達成しよう」(同52位)が世界100位以内にランクインしました。

この度、THEから、本学が2020年から5年連続で国内1位を獲得したことを称える橋が授与されました。

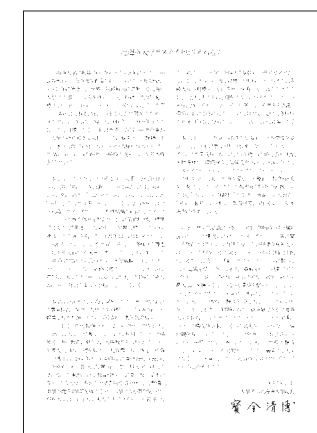
なお、昨年授与された4年連続で国内1位を獲得したことを称える橋は、総合博物館で展示を行っており、今回授与された橋も同様に総合博物館で展示を行う予定です。

海道大学サステイナビリティ宣言」を策定しました。

本宣言の前半では、札幌農学校を起源とする本学発展の歴史に触れ、広大な研究林等のフィール

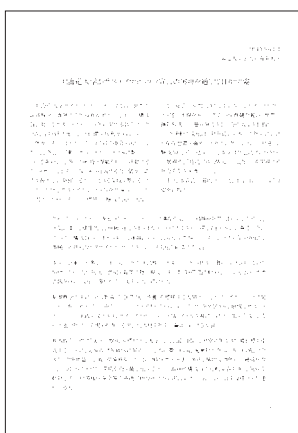
令和5年度に生物多様性の保全に貢献している区域として環境省から「自然共生サイト」に認

雨龍研究林と札幌キャンパスがOECD国際データベースに登録



北海道大学サステイナビリティ宣言

●北海道大学サステイナビリティ宣言
https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2024/08/Hokkaido-University-Sustainability-Declaration_jp.pdf



本学が目指す4つの姿



ドや緑豊かなキャンパスを整備・保有することで、フィールド科学や環境科学等に強みを持つに至ったこと等を述べています。後半では、学生や教職員、経営層も含めた全構成員に対して、SDGsを含むサステイナビリティを共通言語とした学内エンゲージメント(一体感)の醸成を図り、大学の総合力を向上させ、構成員が重んじるべき倫理観を養い、それらによって世界の課題解決に一層貢献できる大学を目指すことを示しています。また、このことを通じて、本学がコミュニケーションの中心となり、学外エンゲージメント(共感)を醸成することによって、その社会的インパクトを一層高める大学にな

定された北方生物圏フィールド科学センター雨龍研究林及び札幌キャンパスが8月に、国連環境計画世界自然保全モニタリングセンター(UNEP-WCMC)が管

レンセラー工科大学と半導体分野における合意書を締結

8月20日(火)(現地時間)、資金清博総長がレンセラー工科大学(米国)を訪問し、マーティン・A・シュミット学長との間で、半

導体分野における人材育成・研究活動での協力をもとに検討していくための合意文書に署名しました。締結式には、鈴木直道北海道知事とRaido株式会社の小池淳義代表取締役社長が同席しま

る計算(理論)科学・情報科学・実験科学の3分野融合による化学反応開発に取り組んできました。ICReDDが掲げるスローガン「Revolutionize Chemical Reaction Design and Discovery」(化学反応設計と発見の革新)は、リスト特任教授の考案によるものです。

リスト特任教授へは、令和4年にユニバーシティプロフェッサーの称号が授与され、令和5年4月からはリスト特任教授を中心とした次世代有機触媒開発を目指す研究プロジェクト「JstサステナブルDX触媒連携研究プラッ

サの称号への感謝の気持ちから、北海道大学を「研究における第二のホーム」と感じているとして、かねてよりメダル公式レプリカを寄贈したいとの意向がありました。この度の寄贈にはそうした北海道大学への感謝の意と、次世代を担う若い世代へ向けた「自身の熱意を追い続けること」というメッセージが込められています。メダル公式レプリカは、広く一般の方々へも見ていただきたいとのリスト特任教授の想いから、準備が整い次第、総合博物館に展示される予定です。

(創成研究機構化学反応創成研究拠点、総合博物館)



リスト特任教授から資金清博総長へのメダル寄贈



総合博物館にて来館者へのメッセージと共に

トフォーム(Jstプラットフォーム)が開始しています。

リスト特任教授には、ノーベル賞受賞前からのICReDDとの縁と、ユニバーシティプロフェッ

した。

レンセラー工科大学は、半導体分野の研究開発で世界有数のエコシステムを有するニューヨーク州において、オールバニー・ナノテク・コンプレックス、IBMなど、この地域の半導体の主要な機関と緊密な関係を有し、半導体分野における教育及び研究において先進的な取組を行っています。

資金清博総長のレンセラー工科大学訪問を契機に、半導体分野の人材育成・研究力向上の必要性を共有している両大学の連携について意見交換を進め、この度の合意文書締結に至りました。

【資金清博コメント】

北海道大学は、半導体の高度人材育成及び研究推進に関する体制構築を加速的に進めています。

今回、米国の半導体分野にお



合意書署名後の集合写真(左から小池社長、鈴木知事、資金清博総長、シュミット学長、レンセラー工科大学プロボストのレベッカ・ドール・ジュ氏、IBM半導体部門ゼネラルマネージャー・ハイブリッドクラウド研究担当バイスプレジデントのムケシュ・カレ氏。写真:レンセラー工科大学提供、撮影者:クリス・クア(レンセラー工科大学))

いて先進的な取組を行っているレンセラー工科大学と関係が構築され、半導体分野に関する連携の模索を進めることで、より質の高い教育を提供することが期待できるとともに、研究力の向上に資するものと考えています。

(総務企画部企画課)

6月12日(水)、英国の高等教育専門誌「Times Higher Education (THE: ティー・エイチ・イー)」から、「THEインパクトランキン



本学が5年連続で国内1位を獲得したことを称える橋



THEインパクトランキン2024で世界72位(国内1位)

THEインパクトランキン5年連続国内1位を称える橋を拝受

研究活動などを検討できる場として、新たに「北海道大学宇宙研究フォーラム」を立ち上げました。本シンポジウムは、そのキックオフとして、学内外の宇宙研究・宇宙産業に関係する方、宇宙に関心がある方が集まり、宇宙研究や宇宙産業などについての最新の情報を共有するために開催したものです。



閉会挨拶をする行松理事



基調講演を行う鈴木教授

続いて、東京大学大学院公共政策大学院の鈴木一人教授が基調講演を行った後、工学研究院の永田晴紀教授、理学研究院の高橋幸弘教授、北極域研究センターの平田

貴文特任准教授、遺伝子病制御研究所の園下将大教授及び理学研究院の倉本圭教授が一般講演を行いました。その後、理学研究院の大津珠子准教授をファシリテーターとして、基調講演及び一般講演の講演者がパネリストとなりパネルディスカッションを行いました。そして最後に、行松泰弘理事が閉会挨拶を行いました。



パネルディスカッションの様子



参加者の集合写真

東京基準より北海道基準、北の夢。

ぷらう

代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 ぷらう

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL: 011-219-2223 FAX: 011-219-2885

10月2日（水）、七大戰を担当する北海道大学体育会役員の学生3名が総長室を訪れ、第63回大会の総合優勝と、本学を主管大学とする第64回大会実施の意気込みを資金清博総長へ報告しました。



総長室での写真撮影（左から、杉山雄介第78期体育会委員長、高橋理事・副学長、萱沼虎太郎第77期体育会委員長、資金総長、近藤 紫第64回七大学総合体育大会実行委員長）



総長室での懇談

第63回全国七大学総合体育大会総合優勝を総長へ報告

スタートしました。

令和6年度に名古屋大学を主管大学として開催された第63回大会では、柔道、相撲、弓道女子の3連覇をはじめ、硬式庭球女子、バドミントン男子、バレーボール男



OECD認定のロゴマーク

● 北海道大学雨龍研究林
Hokkaido University - Uryu Experimental Forest
登録面積:24,170ha
(自然共生サイト認定区域のうち、保護地域(鳥獣保護区)との重複を除いた区域)
<https://www.protectedplanet.net/555781412>

● 北海道大学札幌キャンパス
Hokkaido University - Sapporo Campus
登録面積:126ha
(自然共生サイト認定区域全域)
<https://www.protectedplanet.net/555781411>

が図られている区域を「自然共生サイト」として認定しています。2023年度に認定された自然共生サイトのうち、保護地域との重複を除いた区域4・8万haが日本から初めてOECDとして国際データベースに登録

（サステイナビリティ推進機構、北方生物圏フィールド科学センター）

子の2連覇など多くの団体の躍進により、本学が第43回大会以来の総合優勝を果たしました。

七大戰での優勝は実に20年ぶりであり、加えて本学初の「主管校破り」による総合優勝となります。

資金総長からは、第63回大会総合優勝への賛辞と、第64回大会実施の激励が送られました。また、高橋彩理事・副学長から第64回大会の運営に関する質問があり、学生からホスト役を担う大学として各競技や式典が盛況に終えられる

「北海道大学宇宙研究フォーラム キックオフシンポジウム」を開催

10月27日（日）、「北海道大学宇宙研究フォーラムキックオフシンポジウム」を工学部フロンティア

よう尽力したいと力強い回答がありました。

主管大学が10巡目に入る第64回大会は、本学を主管校として令和7年度に実施されますが、アイスホッケー、航空及びスキーの3競技は令和6年度冬季に実施されるため、第64回大会はまもなく始まります。

未だ本学が成しえていない連覇に向け、皆様の応援をよろしく願います。

（学務部学生支援課）

応用科学研究棟で開催しました。

本学は、宇宙関連の研究に携わる学内教員及び宇宙技術を利用する学内教員が互いに情報を共有し、共同で教育



「本気」で結婚を目指す

北海道大学同窓会員様の

「成婚」をサポートいたします。

北海道大コース

通常登録料

33,000円(税込)

0円

受付時に
「『FRONTIER』を見た」と
お申し付けください。

47年の実績で成婚までサポート

株式会社ブライダルは創業以来47年にわたり、大学同窓会員の皆さまをはじめ、たくさんの方々を成婚に導いてきました。少子化が叫ばれる昨今、当相談所は「幸せな結婚を実現する」という面で社会貢献を目指しています。

特に北海道大学の皆さま向けの「北海道大コース」は大変人気で、多くの同窓会員様にご利用いただいております。この「『FRONTIER』を見た」とお問い合わせ時にお申し付けいただいた方は、通常33,000円の登録料を【無料】にてご入会いただけます。本気で結婚を考えているお相手との出会いを求める方は、ぜひお問い合わせください。

定期的に「親御様無料説明会」を開催中です。

47年に渡るノウハウで
お子様との会話の秘訣を
お伝えしています。
HP・フリーコールより
お気軽にご相談ください。

1978年創業



あなたと未来をつくる
Bridal



0120-415-412

営業時間：平日 10:00～20:00 / 土・日・祝 10:00～18:00
定休日：月曜日(祝日は除く)・年末年始

ブライダル 結婚相談

検索

<https://www.bridal-vip.co.jp/>



東京本社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4-2 野村不動産西新宿ビル9F 名古屋本社：〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

事務局からのお知らせ

■ 北大東京同窓会 2025年度総会・懇親会

日時：2025年6月14日(土)夕刻 / 会場：交詢社(銀座6丁目交詢社ビル)

※詳細はホームページ、会員メルマガでお知らせいたします。



■ 北大応用マテリアル工学コース同窓会 2025年度総会・懇親会

日時：2025年3月7日(金)18時30分より
会場：ピアホールライオン銀座7丁目店(6階)
会費：7,000円(当日お支払い)

〈申込み・お問合せ〉
matealumni@eng.hokudai.ac.jp
渡辺精一(金属43期)
※お申込みはお早めをお願いいたします。



■ 北大フロンティア基金 高額寄附者への称号授与

北大フロンティア基金に高額の寄付をされた方に、本学は謝意として昨年より称号を授与しています。加藤元氏には北海道大学エクセレントビジョナリースポンサーの称号が授与されました。佐々木俊夫氏、矢ヶ崎啓一郎氏、石山喬氏、平岡満里氏にはそれぞれビジョナリースポンサーの称号が授与されました。詳しくは、『北大フロンティア基金』サイトをご覧ください。



■ 事務局スタッフ交代

東京同窓会事務局の廣重晃以さん(S55・法)が退任し、
2025年4月より松浦優美子さん(H7・文)が後任となります。



イラスト©高野葵(H25環境科学院)

歳屋久人の北大あるある

【FRONTIER44号より】 鮫島先生は2024年1月に亡くなられました。既号の懐かしい寄稿を再掲しています。

北海道の花

絵と文 鮫島 惇一郎

初めて植物細胞学実習のため実験材料の採集にでかけた。行く先は札幌円山の申し訳ないほど細い円山川を挟む草地であった。目指す植物はクルマバツクバネソウ。花粉母細胞の減数分裂の最中だという。教室に持ち帰り早速鏡見。スライ

ドグラス上に葯を押し広げ、アセトカーミンで赤く染めた花粉母細胞の染色体。美しさに息をのんだ。一九四四年（昭和一九）学究的権威を誇る北大理学部併設された、札幌臨時教員養成所生物科に入学できた春であった。

しい。

戦況の悪化に伴い、学徒出陣や勤労動員と続き、学業そっちのけの日が続いたが、まもなく終戦！学業の再開は翌年となった。これを機に木造ながら専用の教室が与えられた。以前の水産学実習室とか第五講堂として使われていた建物であった。

やがて卒業を迎えるが、面白くなってきた生物、特に植物の世界だ。もう少し浸ってみようとの思いを理学部植物学科の編入試験で救って戴いた。

やがて植物分類学、形態学や細胞学の実習がはじまった。当然実験室だけでは済まない。やはり実験材料は円山に限る。懐かしい円山川周辺であった。クルマバツクバネソウもツクバネソウたちも健在であった。そしてエゾノリュウキンカ、群生するスミレサイシン。なぜあの頃気が付かなかったのだらう。目、が節穴だったらしい。今、そのあたりはすっかり様変わりし、円山動物園の敷地内になっている。

（昭25理・植）

スミレサイシン



臨時教員養成所とは、太平洋戦争の最中、旧制中学校の理科系教員の極端な不足を補うために、苦悩した文部省が臨時措置令にもとづき対応した制度であった。しかし、この教育環境は最高のものであった。そうそうたる理学部教授、助教授をはじめ多くの諸先生からじかに指導をいただけたのだ。北海道帝国大学一覧をみると、そこに附として養成所一覧があり、職員や講師の項には、諸先生の名が連なり懐か

編集後記

■コロナが落ち着いた2023年11月にしばらく中断していたエルム談話室が再開し、この回からは皆勤で聴講している。主催者の平田さんが講演者を見つけ、毎月第1金曜日の14時からサピアで開催しているやさしい講演会である。

その道に長く携わる方の最新の知識や経験談、業種業界の解説をアットホームな勉強会のように聞けるのはありがたい。専門家の本音や裏話も同窓会ならではだ。聴講者からの遠慮ない質問も面白く、本当に聞くべきは就活前の学生なのかもしれないと思う。

（島田久）

FRONTIER 北海道大学 東京同窓会会報

第66号 2025年（令和7年）2月20日発行

発行所：北海道大学東京同窓会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー10階

☎03-3211-9211 ☎03-3211-9288

Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp

H P http://www.hokudai-tokyo.org/

発行人 横田 浩

編集人 高橋 寛

山本 淳博
陣谷 義直

島田 久 高野 葵 浦崎 稔史
八谷 俊雄 青山 千穂 谷畑 敦史

